

# カラージーニアス DC

## よくある質問とその答え

## 基本的な使い方＜画像の補正・バッチ処理＞

- 🔴 [画像が色かぶりしている場合の補正Tips](#)
- 🔴 [2色やモノクロの分解はできますか？](#)
- 🔴 [ハイキー、ローキーで暗部の階調が出にくい画像の補正Tips](#)
- 🔴 [RGB画像のハイライト、シャドウを任意のポイントに設定するTips](#)
- 🔴 [キーワードを選択した後、標準に戻すにはどうするのか？](#)
- 🔴 [RGB画像へ変換する、グレースケール画像へ変換するTips](#)
- 🔴 [JPEGのノイズを抑える](#)
- 🔴 [シャープネスの強さを調整するTips](#)
- 🔴 [コンパクトデジタルカメラの画像を変換するTips](#)
- 🔴 [シャドウの階調表現を調整するTips](#)
- 🔴 [キーワード「人物モード」の利用Tips](#)
- 🔴 [シャープネスの効いたRGB画像の補正Tips](#)
- 🔴 [元のRGB画像表示に戻したい](#)
- 🔴 [ハイライト、シャドウを他の画像と同じセットアップで変換するTips](#)
- 🔴 [CMYK再調整とは何ですか？](#)
- 🔴 [CMYK再調整の品質はどうですか？](#)

## Q：画像が色かぶりしている場合の補正Tips

A：

メニューパレットから、詳細設定ボタン>AI微調整のタブを選択します。

ハイライトキャスト、又はシャドウキャストのスライダーを右に動かすことで、色かぶりが補正できます。

また、かぶりをそのまま活かし、画像の雰囲気を引き出す場合はスライダーを左に動かします。



**Q：2色やモノクロの分解はできますか？**

**A：**

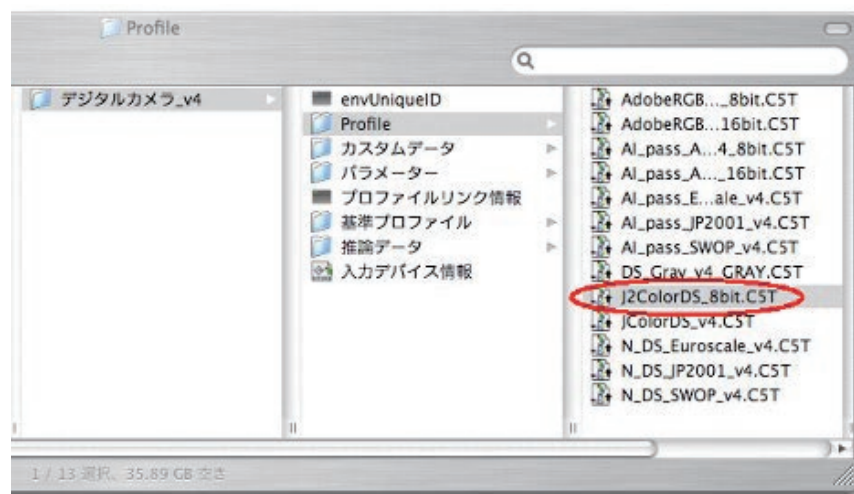
2色分解をできるようにするには、

アプリケーション/ColorgeniusDCv3/Goodies/J2ColorDS\_8bit.C5Tのファイルを、

アプリケーション/ColorgeniusDCv3/ColorgeniusDCv3.1/入力デバイス/

デジタルカメラv4/profile

にコピーして、アプリケーションを再起動します。



2色分解の変換テーブルが、メニューパレット上で選択できるようになります。





モノクロ分解：メニューパレットのグレースケールのボタンを押すことによってモノクロ分解がシミュレートできます。



#### Q：ハイキー、ローキーで暗部の階調が出にくい画像の補正Tips

A：

メニューパレットから、詳細設定ボタン>AI微調整のタブを選択します。

シャドウ濃度域、ハイライト濃度域、トーンのスライダーを左右に動かすことで好みの仕上がり調整できます。

ローキー傾向の場合はシャドウ濃度域のスライダーを右へ、トーンのスライダーを左に動かすことで、明るく、暗部の階調を再現します。



### Q：RGB画像のハイライト、シャドウを任意のポイントに設定するTips

A：

カラージーニアス DC Ver.3.\*のノーマルモードでは通常、AIセッティングが機能してRGB画像のハイライト、シャドウポイントを自動で設定します。ハイライト、シャドウを任意のポイントに設定したい場合は、次の操作を行います。

1)セッティングパレットのマニュアル微調整ボタンをクリックし、表示されたダイアログで、ハイライトポイントの指定はダイアログのHDをクリックし、反転したら、キーボードの「コマンド」キーを押しながら画像の任意のポイントをクリックします。

2)シャドウポイントの指定はSDをクリックして同様の操作をします。

### Q：キーワードを選択した後、標準に戻すにはどうするのか？

A：

仕上がりキーワードを複数選択した後で、元の標準に戻すには「仕上がり標準」のキーワードを再度ドラッグすれば、複数のキーワード選択が解除されて元の標準の状態に戻ります。

(何度でも繰り返して行えます)



## Q：RGB画像へ変換する、グレースケール画像へ変換するTips

### A：

カラージェニアス DC Ver.3.1 では、RGB画像をCMYK画像へ変換する他に、RGB画像やグレースケール画像へ変換することができます。

ここでは、R'G'B'画像やグレースケール画像へ変換する方法を紹介します。

## 1. カラー環境を設定する

【1】変換後の画像をシミュレーション表示させるICCプロファイルをカラージェニアス DC Ver.3.1所定のフォルダへコピーします。

<ホームディレクトリ>/アプリケーション/ColorgeniusDCv3/ColorgeniusDCv3.1  
/Colorgenius ICC/output

【2】カラージェニアス DC Ver.3.1を起動し、「カラー設定」画面を開きます。

「メニューバー」から「環境>カラー設定>」を選択します。

【3】対象プロファイル欄の「設定変更」ボタンをクリックします。

【4】「対象プロファイルの設定」画面で「出力RGB」と「出力Gray」にシミュレーション表示させるプロファイルをドラッグ&ドロップして指定します。

【5】以上でカラー環境の設定を終了しました。「設定」ボタンをクリックして画面を閉じます。

## 2. 変換モードをRGB画像、グレースケール画像に切り替える

次の2つの方法で変換する画像のモードを「RGB画像」や「グレースケール画像」に切り替えることができます。

【1】「メニューバー」から「イメージ>出力画像モデル>RGBあるいはGray」を選択します。

.html[2019/12/04 16:34:59]

## 【2】「セットアップパレット」の出力モードボタンを切り替える

プレビューにチェックを入れると変換後のRGB画像やグレースケール画像がモニター上にシミュレーション表示されます。

CMYK画像への変換と同様に画像の仕上がりを調整し、ファイルに保存することができます。また、レシピファイルを作成することもできます。

### Q：JPEGのノイズを抑える

#### A：

JPEG画像に見られる特有のノイズを軽減することができる、「JPEGクリーナープラグイン」を使ってJPEGのノイズを抑えることができます。非可逆圧縮であるJPEG画像の場合、ブロック状やモスキート（蚊）ノイズが見られる場合があります。

「JPEGクリーナープラグイン」はこれらJPEG特有のノイズを軽減するためのプラグインソフトです。画面上で処理結果を確認しながらご利用ください。

JPEGクリーナーは、下記の手順で使用することができます。

1. 「メニューバー」から「イメージ／プリセットアップ／jpegクリーナー」を選択します。
2. 「クリーナー量」（処理の強さ）を選択して、「OK」ボタンをクリックします。

## Q：シャープネスの強さを調整するTips

### A：

カラーजीニアス Ver.3.\*でシャープネスAIを使わない変換を行う場合や、元画像のシャープネスが強すぎる場合は、マニュアル微調整でシャープネスの設定を 変更して、適度な強さのシャープネスに補正することができます。

画像全体に対するシャープネスの強さを調整する場合は「ゲイン」値で調整を行います。

また、画像に現れる黒や白の縁が好ましくない場合は、黒（Black）、白（White）それぞれに対するコントラストの付け方を調整して縁が現れないように調整することができます。

続いて、シャープネスの「ゲイン」と「Black/White」を使ってシャープネスの強さを調整する方法を説明します。

#### 1. マニュアル微調整画面を開きます。

セットアップパレットの右上図のボタンをクリックするか、「メニューバー」から「イメージ>マニュアル微調整」を選択してマニュアル微調整の画面を開きます。

#### 2. 「シャープネス」タブを選択して「ゲイン」の数値を減らす方向で調整を行います。

「ゲイン」は、画面全体に対するシャープネスの強さを設定する項目です。「ゲイン」の数値を減らすことで画像全体に対するシャープネスの効果を弱くすることができます。

（画像によって異なりますが元の設定から4、5割減を目処に調整を行ってください。）

#### 3. 白縁、黒縁が気になる場合は、「Black/White」の値を減らす方向で調整を行います。

Black/White」は、画像に表れる黒や白の縁が好ましくない場合、黒（Black）、白（White）それぞれに対するコントラストの付け方を調整することができます

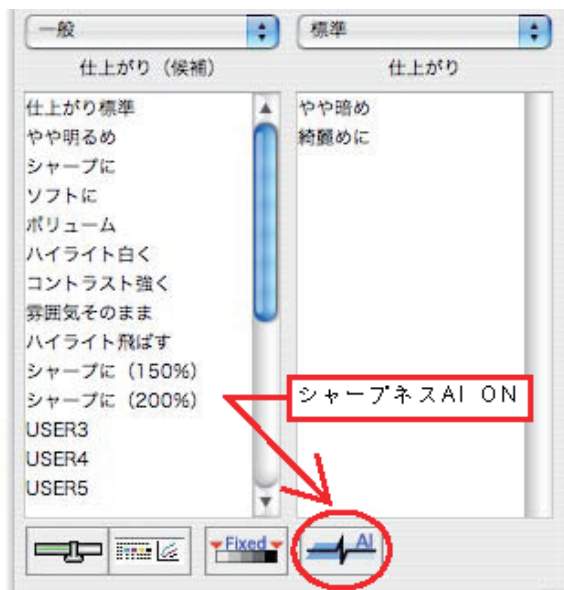
#### 4. プレビュー表示される画像で調した結果を確認の上、問題が無ければ「確定」ボタンをクリックして処理内容を確定します。

適度なシャープネス補正量が決まれば、その設定をカスタムキーワードに登録することで作業の効率を上げることができます。

## Q：コンパクトデジタルカメラの画像を変換するTips

A：

カラージェニアスDC Ver.3.\*から、シャープネスAIの機能が追加されました。コンパクトデジタルカメラのRGB画像のように、あらかじめシャープネスが強くなっている場合でも、安心してCMYK変換していただけます。



Ver.3.\*以前のカラージェニアスをお使いの方は、以下をご参照ください。

コンシューマクラスのデジタルカメラで撮影したRGB画像をColorGenius DC2で変換を行う場合、シャープネスが強くなりすぎた画像に変換される場合があります。そのような場合、ColorGenius DC2のシャープネス補正を弱めに設定することで良好な変換結果を得ることができます。

「マニュアル微調整」機能を使ってシャープネスの強さを調整する方法を説明します。

### 1. マニュアル微調整画面を開きます。

セットアップパレットの右上図のボタンをクリックするか、「メニューバー」から「イメージ>マニュアル微調整」を選択してマニュアル微調整の画面を開きます。

**2. 「シャープネス」タブを選択して「ゲイン」の数値を減らす方向で調整を行います。**

「ゲイン」は、画面全体に対するシャープネスの強さを設定する項目です。「ゲイン」の数値を減らすことで画像全体に対するシャープネスの効果を弱くすることができます。

(画像によって異なりますが元の設定から4、5割減を目処に調整を行ってください。)

**3. 白縁、黒縁が気になる場合は、「Black/White」の値を減らす方向で調整を行います。**

「Black/White」は、画像に表れる黒や白の縁が好ましくない場合、黒 (Black) 、白 (White) それぞれに対するコントラストの付け方を調整することができます

**4. プレビュー表示される画像で調した結果を確認の上、問題が無ければ「確定」ボタンをクリックして処理内容を確定します。**

適度なシャープネス補正量が決まれば、その設定をカスタムキーワードに登録することで作業の効率を上げることができます。

## Q：シャドウの階調表現を調整するTips

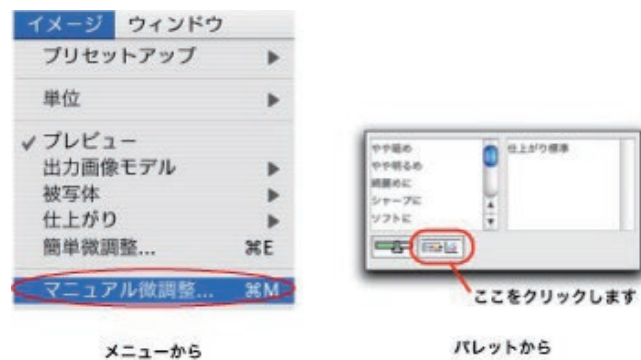
A：

変換した画像でシャドウ部分が暗くつぶれていて階調が上手く出ていない場合は、シャドウの濃度を高濃度側へシフトすることで、シャドウ部分の表現を調整することができます。また、この操作は人物写真の茶髪の影の部分がシャドウになるような場合に髪の毛の部分が茶髪から黒髪に変わってしまうような場合にも有効な調整になります。

続いて「マニュアル微調整」の「AI微調整」を使ってシャドウの濃度を調整する方法を説明します。

### 1. マニュアル微調整画面を開きます。

セットアップパレットの右上図のボタンをクリックするか、「メニューバー」から「イメージ>マニュアル微調整」を選択してマニュアル微調整の画面を開きます。



### 2. 「AI微調整」タブを選択して「シャドウ」の数値を増やす方向に調整します。

3. プレビュー表示される画像で調した結果を確認の上、問題が無ければ「確定」ボタンをクリックして処理内容を確定します。





適度なシャドウの補正量が決まれば、その設定をカスタムキーワードに登録することで作業の効率を上げることができます。

## Q：キーワード「人物モード」の利用Tips

A：

人物モードの選択で、肌のグレー成分を除去し、綺麗な肌色に仕上げます。

RGB画像の肌が暗い場合は被写体詳細キーワードで「暗い肌」、明るい時は「明るい肌」を選べば補正が掛かります。

＊人物モードはポートレートなど、**肌の表現に重点をおく場合に使用すると有効**です。

いわゆる集合写真など、肌色の表現がポイントでは無い場合、効果的で無い場合もあります。



## Q：シャープネスの効いたRGB画像の補正Tips

A：

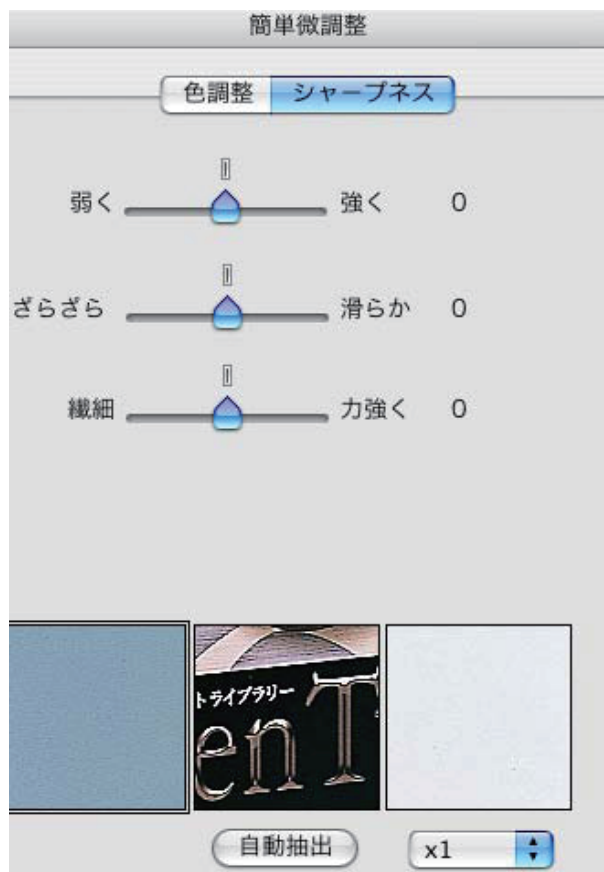
メニューパレット>マニュアル微調整ボタン>シャープネスから、ゲイン値を触るとデフォルト値から変えることができます。



コンシューマータイプのデジタルカメラで撮影されたRGB 画像では、8?6位のゲイン値を指定します。



簡単微調整の画面からも、シャープネスの調整は可能です。

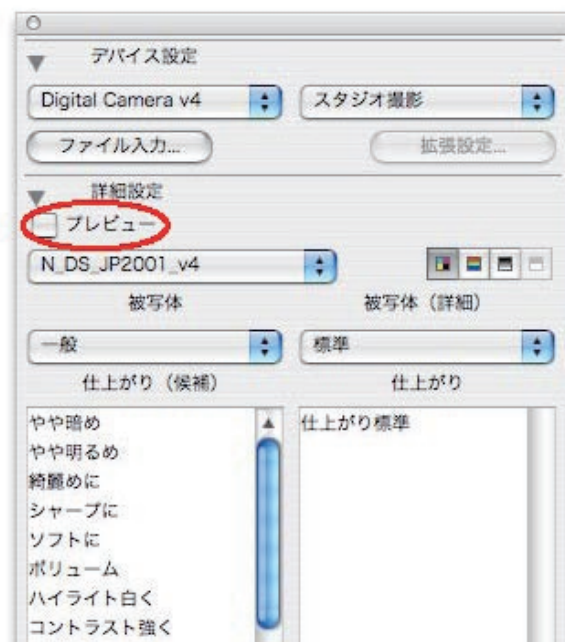


**Q：元のRGB画像表示に戻したい**

**A：**

メニューパレット上のプレビューBOXのチェックを外せば、元のRGB画像を表示します。

また、ファイルを保存するまでは一切、元の画像は変更されません。

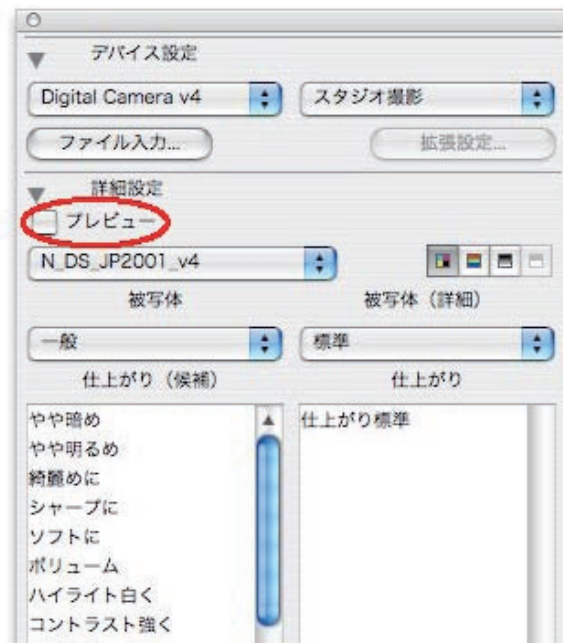


**Q：元のRGB画像表示に戻したい**

**A：**

メニューパレット上のプレビューBOXのチェックを外せば、元のRGB画像を表示します。

また、ファイルを保存するまでは一切、元の画像は変更されません。



## Q：CMYK再調整とは何ですか？

## A：

Ver.3.1から追加された新機能です。

既に変換済みのCMYK画像の品質を、もう一度調整する場合に使用します。

特に、CMYK画像であってもカラージェニアスの特長であるセットアップ機能

（AI／キーワードセットアップ、シャープネス）を使えるので、

スキルレスにCMYK画像の品質を修正できます。

関連する情報 [簡単に操作してみよう～CMYK変換の流れ](#)

### ■CMYK再調整モードと微調整モードについて

CMYKを再調整する場合は、CMYK再調整モードとなりドキュメントウインドウのタイトルバーに表示される画像のファイル名のあとに「(CMYK再調整)」と表示されます。



CMYK画像を再調整しない場合は、微調整モードとなりタイトルバーに画像のファイル名（CMYK）が表示されます。

#### ●CMYK再調整モードの特徴

CMYK再調整モードの場合は、入力キャリブレーション時にRGBに戻すことにより、

RGB画像と同じくカラージェニアスの機能をすべて使用することができます。

#### ●CMYK微調整モードの特徴

元のCMYK値に対して、調整を行いたい場合に使用します。

ただし、微調整できるのは次のとおりです。

- ・トーン補正
- ・特定色変更

**Q : CMYK再調整の品質はどうですか？**

**A :**

既に強く掛かってしまっているシャープネスを弱める事はできません。

CMYK再調整のデフォルトのゲイン量は「4」に設定されています。

シャープネスAIの利かせ方もRGB-CMYK変換に比べて弱めに調整されています。

これらは、CMYK再調整の結果、不自然な仕上がり品質にならないようにするために設定されています。

また、調整前後の「網%」は全く同じ値にはなりません。

## 基本的な使い方＜ファイル入出力＞

- ① [簡単に操作してみよう～CMYK変換の流れ](#)
- ② [切り抜きパス（クリッピングパス）は保持はできますか？](#)
- ③ [変換画像の解像度を指定するには？](#)
- ④ [変換画像の出力サイズを指定するには？](#)
- ⑤ [入力キャリブレーションって、何ですか？](#)
- ⑥ [対応している出力ファイル形式は？](#)
- ⑦ [ファイルを開く時に入力キャリブレーションで「変換をしない」を選択したら？](#)
- ⑧ [画像固有の情報にチェックを入れた場合、レシピは何が変わるのか？](#)
- ⑨ [対応している入力ファイル形式は？](#)
- ⑩ [AIセットアップをかける範囲を指定したい](#)
- ⑪ [画像をトリミングしてファイルに保存するには？](#)
- ⑫ [ファイルを開く時、入力キャリブレーションのメッセージを毎回確認したくない](#)
- ⑬ [自社の印刷条件に準じたモード変換プロファイルを作成できますか？](#)
- ⑭ [埋め込まれたプロファイルを無視して、別のプロファイルを当てたい](#)
- ⑮ [入力キャリブレーションの簡素化](#)



## Q：簡単に操作してみよう～CMYK変換の流れ

### A：

ここでは一般的な方法でカラージョニアス DC Ver.3.\*を使ってCMYK画像を作成する方法を説明します。

この項目は次の構成になっています。

1. デバイス設定の確認
2. RGB画像またはCMYK画像を開く
3. CMYK画像をプレビュー表示する
4. キーワードを選択して仕上がりを調整する
5. 画像を保存する

---

### 1. デバイス設定/カラーモードの確認

セットアップパレットのデバイス設定を確認します。



必ず、「Digital Camera v4」、「スタジオ撮影」を設定し、カラーモードをCMYKに設定します。

---

### 2. RGB画像またはCMYK画像を開く

- i 「メニューバー」から「ファイル>開く」を選択し、RGB画像またはCMYK画像を開きます。

入力できるファイルは、TIFF、EPS、JPEG形式の各ファイルになります。

- ii. 「入力キャリブレーション変換」の設定を選択する

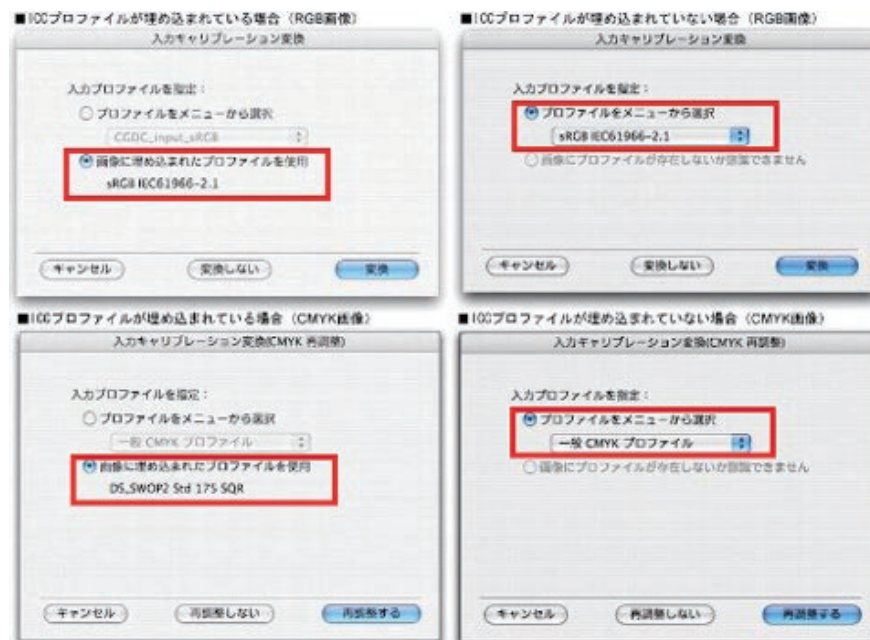
「ファイル形式」や「埋め込まれたプロファイルの有無」毎に適切な設定を紹介します。

■ICCプロファイルが埋め込まれている場合

「画像に埋め込まれたプロファイルを使用」をチェックします。

■ICCプロファイルが埋め込まれていない場合

ICCプロファイルのカラースペース情報を使ってRGB画像またはCMYK画像を読み込みます。



### 3. CMYK画像をプレビュー表示する

- i. 画像解像度と倍率を設定する

「メニューバー」から「イメージ>プリセットアップ>画像回転変倍」を選択します。

画像解像度が72dpiの場合、ここで印刷物にあった画像解像度、倍率へ変更します。

- ii. プレビューをONにしてCMYK画像を確認します。

- プレビューをONにしてCMYK変換された画像を確認します。
- 出力プロファイルに「N\_DS\_JP2001\_v4」を選択します。

- 変換モードはCMYK変換を選択します。

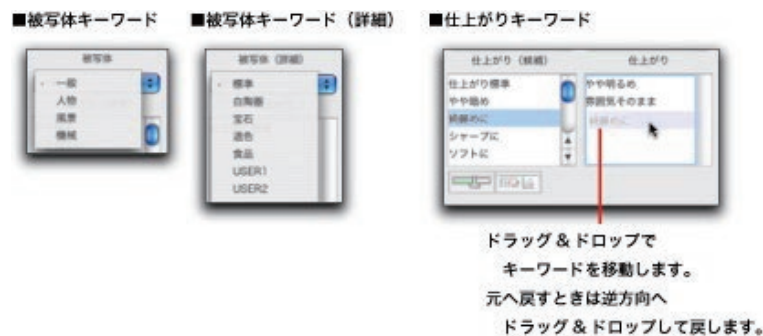


#### 4. キーワードを選択して仕上がりを調整する

「被写体」「被写体（詳細）」「仕上がりキーワード」を使い、画像仕上がりの調整を行います。

「仕上がりキーワード」を指定する場合は、「仕上がり（候補）」から「仕上がり」へ「キーワード」をドラッグ&ドロップします。複数のキーワードを組み合わせることもできます。

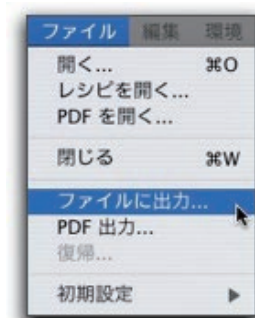
選択したキーワードを取り消す場合は、逆方向へドラッグ&ドロップして戻します。



#### 5. 画像を保存する

「ファイル」メニューから「ファイル出力」を選択し、ファイルを保存します。

保存できるファイルはTIFF、EPS、JPEG形式の各ファイルになります。



**Q：切り抜きパス（クリッピングパス）は保持はできますか？**

**A：**

EPS（RGB）形式で記述されたクリッピングパスは、EPS（CMYK）形式でクリッピングパス付の画像の保存ができます。

事前に、ファイル>初期設定>セットアップ環境設定のEPSオープンにチェックを入れておく設定が必要です。

また、TIFF、JPEG、EPS（RGB）形式で記述されたPhotoshop/パスは、同じファイルフォーマットを維持することでPhotoshop/パス付のCMYK画像に変換・保存できます。

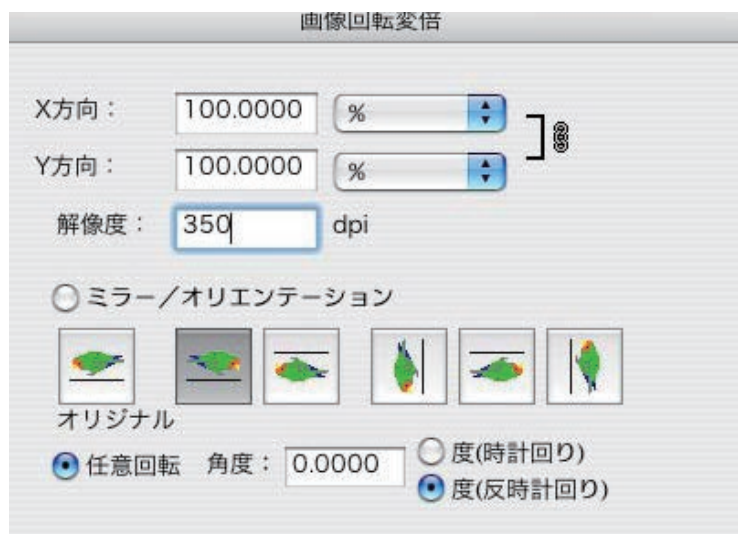
ただし、カラーマネージャ DC Ver.3.1上で変換を行なうとクリッピングパスおよびPhotoshop/パスは保存されません。原寸の場合だけ保存できます。



Q：変換画像の解像度を指定するには？

A：

ファイルメニューのイメージ>プリセットアップ>画像回転変倍 のダイアログで解像度を指定します。



**Q：変換画像の出力サイズを指定するには？**

**A：**

ファイルメニューのイメージ>プリセットアップ>画像回転変倍 のダイアログで出力サイズを指定します。

％、インチ、ミリ、ピクセルが指定できます。



**Q：入力キャリブレーションって、何ですか？**

**A：**

RGB画像の色を正確にカラーマネージメント DC Ver.3.1のカラー空間に取り込むために補正を行うことを入力キャリブレーションと呼びます。

元の画像に適切なICCプロファイルとカラーマネージメント DC Ver.3.1のカラー空間の

ICCプロファイルを使って、開いたファイルのRGB→RGB'画像を補正してから、次の作業に進みます。

(色は変わりません)

**Q：対応している出力ファイル形式は？**

**A：**

TIFF、EPS、JPEG、PDFの4種類です。

※CMYK画像のPDFへの出力には、カラージェニアス DC Ver.3.1 Serverが必要です。

PDF形式のRGB画像（レシピ付）は、USERライセンスで保存できます。

**Q：ファイルを開く時に入力キャリブレーションで「変換をしない」を選択したら？**

**A：**

RGBカラースペース間のキャリブレーションをしないで、大日本スクリーン標準のカラースペースで画像を取り込み表示します。

もちろん画像によっては色が変わりますので、通常は入力キャリブレーションを正しく行ってください。

**Q：画像固有の情報にチェックを入れた場合、レシピは何が変わるのか？**

**A：**

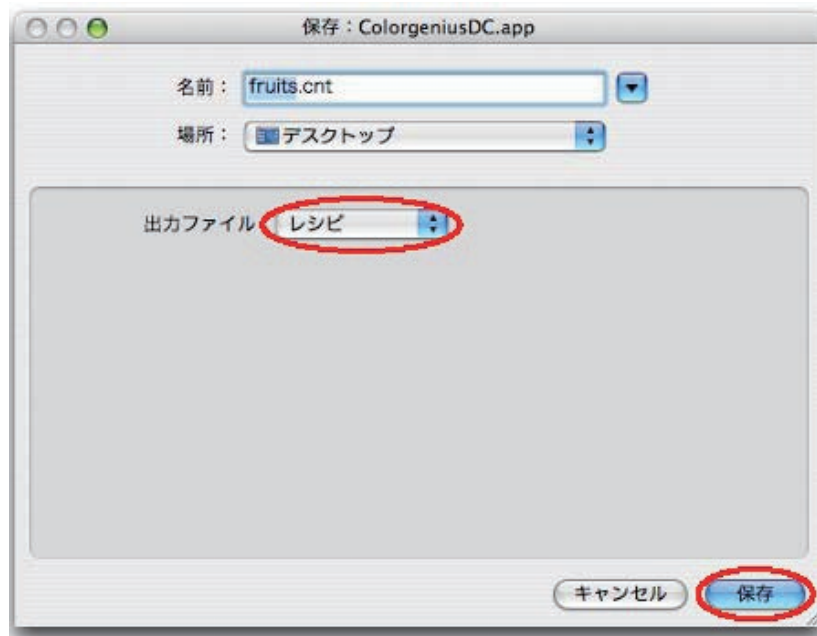
オリジナルのRGB画像とのリンク情報がレシピに記述されます。

固有レシピを開くと、RGB画像を同時に開きに行きます。

リンク情報が切れた場合は、レシピとRGB画像を同一フォルダに入れることによって、  
リンクします。

固有レシピの保存方法は以下のとおりです。

1.レシピを選択してから「保存」をクリックします。



2.「画像固有の情報(AI,特定色変更等)を保存」にチェックを入れます。





Q：対応している入力ファイル形式は？

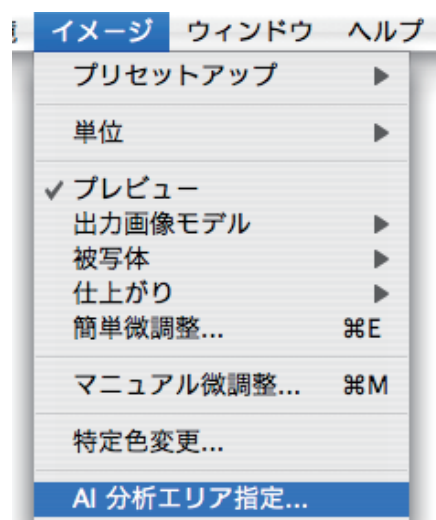
A：

TIFF、EPS、JPEG、PDFのRGB画像が扱えます。

Q：AIセットアップをかける範囲を指定したい

A：

画像を開いた後、メニューの「イメージ」>「AI分析エリア指定」を選択して、



AIエリアを指定します。

AIセットアップをかける範囲を指定することで、より一層最適な変換が得られます。



**Q：画像をトリミングしてファイルに保存するには？**

**A：**

1)ツールパレットからトリミングツールを使用して、トリミングするエリアを指定します。

2)カーソルをエリア内にいれてクリックすることでトリミングできます。



**Q：ファイルを開く時、入力キャリブレーションのメッセージを毎回確認したくない**

**A：**

メニューの「編集」>「カラー設定」で「開く時に毎回確認」のチェックを外します。



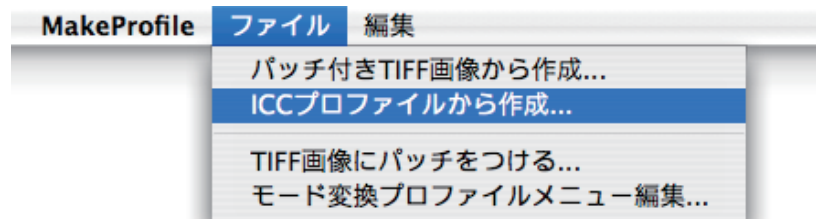
**Q：自社の印刷条件に準じたモード変換プロファイルを作成できますか？**

**A：**

MakeProfileToolを使うことによって、  
特定の印刷用ICCプロファイルに準じたモード変換プロファイルを手軽に作成できます。

(例：Fairdot用、CMYK広色域印刷用)

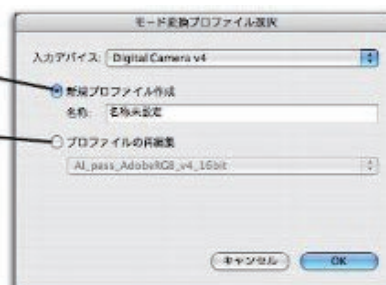
1.ファイルメニューから「ICCプロファイル作成...」を選択します。



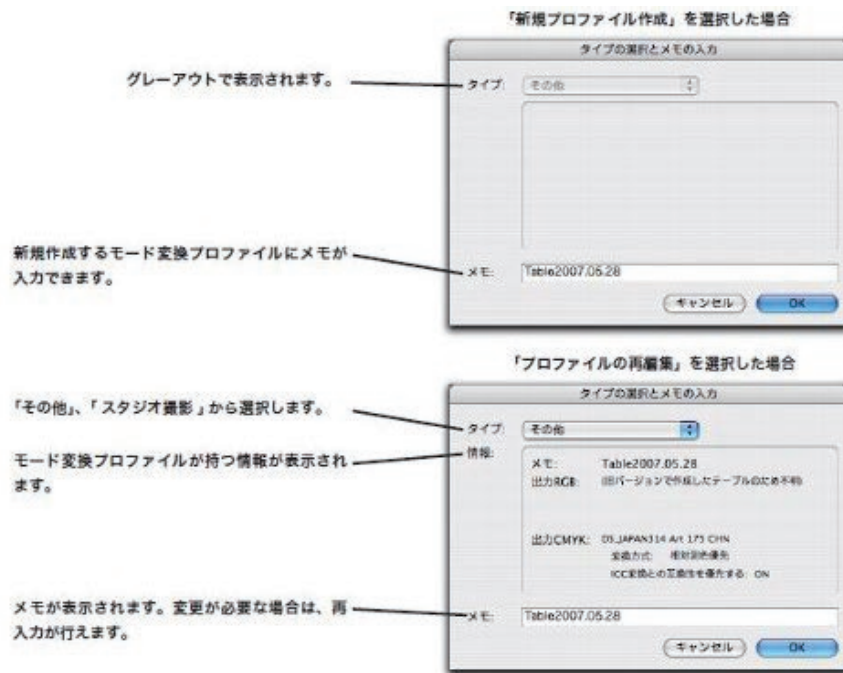
2.「モードプロファイル選択」画面で「入力デバイス」を選択し、  
「新規プロファイル作成」または「プロファイルの再編集」のどちらかを選択して  
「OK」ボタンをクリックします。

「新規プロファイル作成」を選択した場合は、新しいプロファイル名を入力してください。

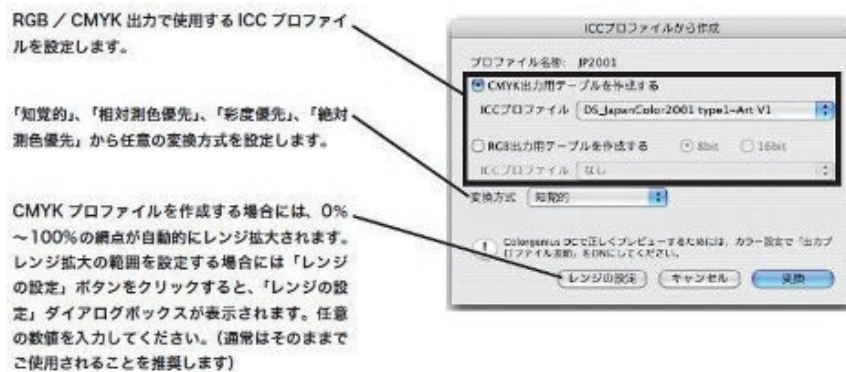
「プロファイルの再編集」を選択した場合は、プルダウンバーから編集を行うモード変換プロファイルを選択してください。



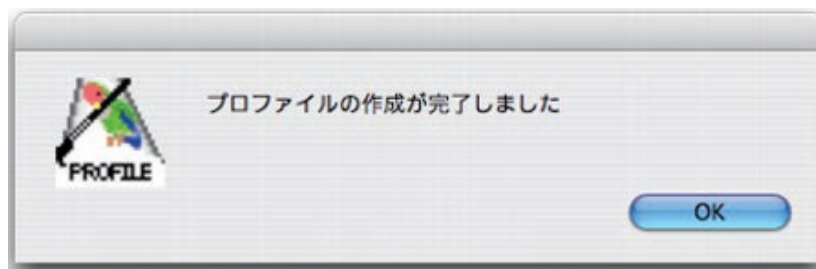
3.「タイプ選択とメモの入力」画面が表示されます。



4. 「ICCプロファイルから作成」画面が表示されます。
- 任意のモード変換プロファイルを作成します。



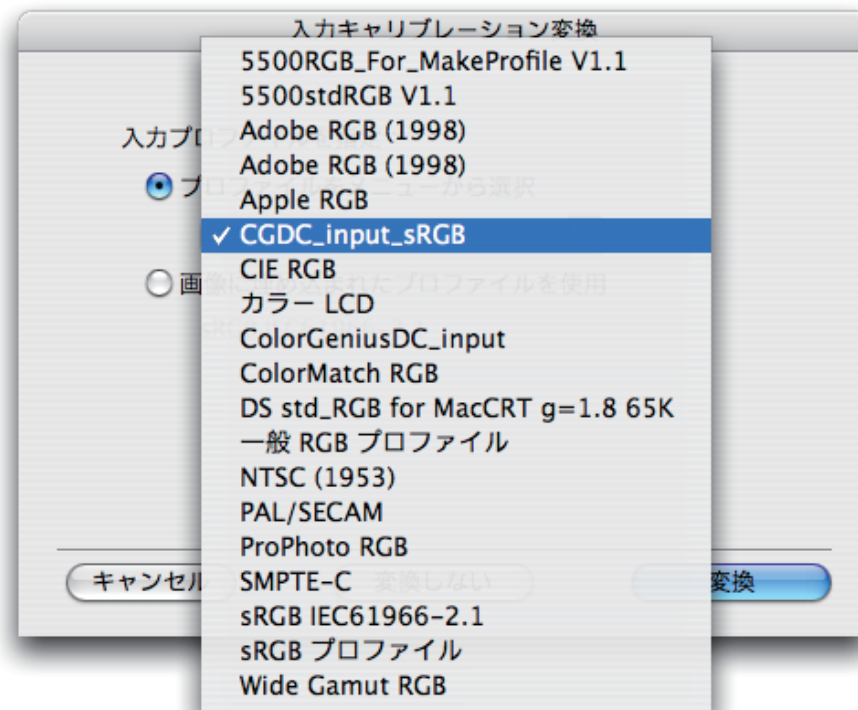
5. 「変換ボタン」をクリックし、変換が終了すると以下の画面が表示されます。



**Q：埋め込まれたプロファイルが無視して、別のプロファイル当てたい**

**A：**

開く画像ファイルを指定した後、入力キャリブレーションの画面で  
「プロファイルをメニューから選択」を選んで、入力プロファイルを指定します。



**Q：入力キャリブレーションの簡素化**

**A：**

カラージェニアス DC Ver.3.\*から、RGB画像ファイルを開く際に、Exifデータや埋め込まれたICCプロファイルを参照、自動認識して入力キャリブレーションを行うので、操作が簡略化されました。

これにより、オペレーションミスによって「色が変わった」などのトラブルが防げます。

## 初期設定の方法・全般

- 🔍 [JapanColor2001Coated プロファイルを入手する](#)
- 🔍 [カラーマネジメント環境を設定する](#)
- 🔍 [プレビュー表示の色が、Photoshop表示の色と違う \(CMYK\)](#)
- 🔍 [カラージェニアス DC Ver.3.1は何ができるソフトですか？](#)
- 🔍 [CMYK保存したファイルをダブルクリックした時に常にPhotoshopで開く設定](#)
- 🔍 [カラージェニアス DC Ver.3.1の動作環境は？](#)
- 🔍 [シリアル番号はどこに記載されていますか](#)
- 🔍 [インストール手順～新規インストールの場合](#)
- 🔍 [Photoshopと色を合わせるには？](#)
- 🔍 [取り込んだRGB画像の表示の色が、Photoshop表示の色が違う](#)
- 🔍 [カラージェニアス DC Ver.3.1 Smartと1ユーザ/1サーバーの違いを教えてください](#)
- 🔍 [「スタジオ撮影」と「その他」の使い分け方がわからない](#)
- 🔍 [レシピを8bit、16bit画像で使い分ける\(Ver2.0まで\)](#)
- 🔍 [マニュアル微調整を使う](#)
- 🔍 [マニュアル微調整で補正した後、「キーワードを選択」または「簡単微調整の設定」をした場合アラートが出る](#)
- 🔍 [メニューパレット「変換テーブル」の違いがわからない \(ノーマルモード、スキャナモード\)](#)
- 🔍 [「一般」と「デジタルカメラ」の使い分けがわからない](#)
- 🔍 [ColorGeniusDC input、CGDC input sRGBの意味がわからない](#)
- 🔍 [変換テーブルの16bitの標記の意味は？](#)
- 🔍 [縮小、拡大時にシャープネスの処理の連動について](#)
- 🔍 [サーバー機能を追加したい](#)
- 🔍 [ファイル保存時に画像サイズを変更した場合、パスが保持されない](#)
- 🔍 [サーバーで変換時にファイル名を上書きする設定](#)
- 🔍 [仕上がりキーワードの補正内容一覧](#)
- 🔍 [CMYK変換後のファイルにICCプロファイルを埋め込むには？](#)
- 🔍 [「変換テーブル」って、何ですか？](#)
- 🔍 [被写体キーワードの補正内容一覧](#)
- 🔍 [マニュアル微調整で補正した後、簡単微調整を併用した場合、アラートが出る](#)
- 🔍 [カスタムキーワードを作成する](#)
- 🔍 [表示するキーワードの数を増やす \(減らす\)](#)
- 🔍 [カラー設定でフォルダーに登録したICCプロファイルが選択できない](#)
- 🔍 [RGB画像のプロファイルが判らない、予めチェックする方法は？](#)
- 🔍 [インストール手順～「1Server版」の場合](#)
- 🔍 [特定の画像補正パターンをキーワードで登録したい](#)
- 🔍 [AIバイパスとは何ですか？](#)
- 🔍 [シャープネスAIとは何ですか？](#)
- 🔍 [シャープネスAIの使い方](#)
- 🔍 [総インキ量の調整 \(サーバー機能\)](#)
- 🔍 [Digital Camera v4 とは何ですか？](#)
- 🔍 [AIバイパスの使い方](#)

## Q : JapanColor2001Coated プロファイルを入手する

## A :

PhotoshopCSに付属しているICCプロファイル「JapanColor2001 Coated.icc」をカラーマネージメント DC Ver.3.1で使用するために、プロファイルを入手する方法について説明します。

---

### **JapanColor2001Coatedプロファイルとは**

JapanColor2001色再現印刷2001に準拠し、次の印刷条件で日本の標準インキを使用する高品質の色分解を行います。印刷条件 - インキ使用総領域350%、ポジ版、コート紙

このプロファイルは、Photoshop CS3やAcrobat8 Proに標準で付属している他、アドビシステムズ株式会社のホームページから無償でダウンロードして入手することができます。

このプロファイルをカラーマネージメント DC Ver.3.1所定のフォルダへコピーすることで、カラーマネージメント DC Ver.3.1で 사용할ことができ、Photoshop CS3など他のアプリケーションとカラー環境を統一することができます。

---

### **1. プロファイルを入手する**

このプロファイルは、アドビシステムズ株式会社のホームページからダウンロードして入手する、または、PhotoShopCS3やAcrobat8に付属しているものを利用することができます。

### **アドビシステムズ株式会社のホームページからダウンロードする**

下記のURLからプロファイルをダウンロードして入手することができます。

<http://www.adobe.co.jp/support/downloads/iccmac.html>

このプロファイルをカラージェニアス DC Ver.3.1所定のフォルダにコピーして使用します。

### **PhotoshopCS3、Acrobat8付属のプロファイルを利用する**

これらのアプリケーションがインストールされている場合、次のフォルダの場所にプロファイルがインストールされています。

<ホームディレクトリ>/ライブラリ/  
Application Support/Adobe/Color/Profiles/Recommendedフォルダ

---

## **2.プロファイルをカラージェニアス DC Ver.3.1所定のフォルダにコピーします**

### **コピー先のフォルダ**

<ホームディレクトリ>/アプリケーション/ColorgeniusDCv3/  
ColorgeniusDCv3.1/Colorgenius ICC/output

---

## **カラージェニアス DC Ver.3.1を起動し、「カラー設定」を開きます**

「メニューバー」から「環境>カラー設定...」を選択します。

以下のラジオボタンを選択します。

- 対象プロファイルの指定

印刷条件のICCプロファイルのリストに「JapanColor2001Coated」が表示されています。

---

関連する情報 [カラーマネジメント環境を設定する](#)



## Q：カラーマネジメント環境を設定する

## A：

インストールが終了したら、まずはじめに、カラーマネジメント環境を設定することをお奨めします。

ここではカラージェニアス DC Ver.3.1のカラーマネジメント環境を設定する方法を紹介します。

---

### 1.印刷プロファイルをコピーする

カラージェニアス DC Ver.3.1では、MAC OSのシステムにインストールされたすべてのICCプロファイルを参照するように変更されていますが、快適にお使いいただくために、以下の方法で印刷プロファイルをカラージェニアス DC Ver.3.1 所定のフォルダにコピーして頂くことをお奨めします。

※ここでは例として、アドビシステムズ株式会社が配布している「JapanColor2001 Coated」のプロファイルを使います。その他の印刷基準カラーのプロファイルや印刷条件にあわせて作成したプロファイルの場合も同様の操作になります。

#### 【コピー先のフォルダ】

「アプリケーション/ColorgeniusDCv3/ColorgeniusDCv3.1/

Colorgenius ICC/output」

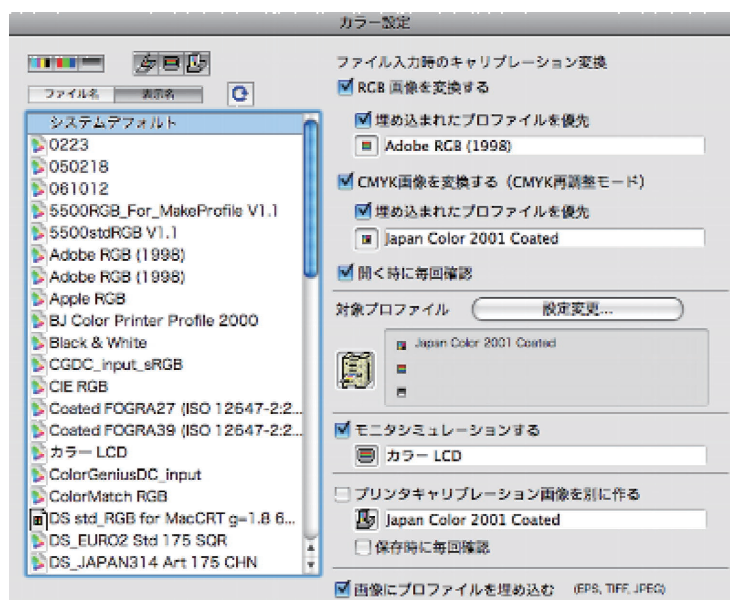
※このフォルダの中のプロファイルが後で紹介するColorSync設定画面に表示されます。

関連する情報 [JapanColor2001CoatedのICCプロファイルを入手する](#)

---

### 2.カラー設定の画面を開く

「メニューバー」から「環境＞カラー設定」をクリックします。



「カラー設定」では次の4つの項目に関する設定を行うことができます。

- RGB画像の色を正確に取り込むための入力キャリブレーションの設定
- モニター上で印刷の仕上がりを見るためのモニタープロファイルの設定
- 印刷シミュレーションの対象になる印刷プロファイルの設定
- 出力画像にICCプロファイルを埋め込むための設定

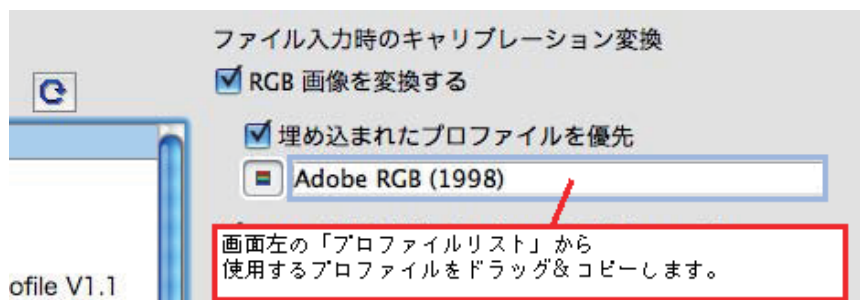
続いて、カラー設定の各項目を設定します。

### 3.RGB画像入力時のキャリブレーション変換を設定する

以下の3つの項目すべてのチェックボックスを選択します。

- 「RGB画像を変換する」
- 「埋め込まれたプロファイルを優先」
- 「開くときに毎回確認」

「入力プロファイル」に初期設定としてよく使用するプロファイルを指定します。



ここで設定したICCプロファイルはファイル入力時にデフォルトで表示されます。よく使うカラースペースのプロファイルを指定します。

sRGBやAdobe RGB相当のカラースペースを選ぶ場合は次のプロファイルを選択しま

す。

(カラージェニアス DC Ver.3.1に標準で付属しています)

**sRGB相当の場合・・・CGDC input sRGB**

**AdobeRGB相当の場合・・・ColorGeniusDC input**

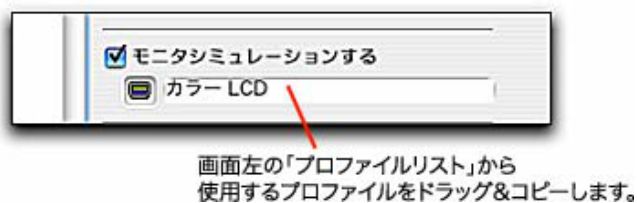
---

#### 4. モニターシミュレーションを設定する

以下のチェックボックスを選択します。

- モニターシミュレーションする

使用するモニターのICCプロファイルを指定します。



#### **お使いのモニターのICCプロファイルを選択します。**

キャリブレーション調整を行い、ICCプロファイルを作成しているものを推奨します。

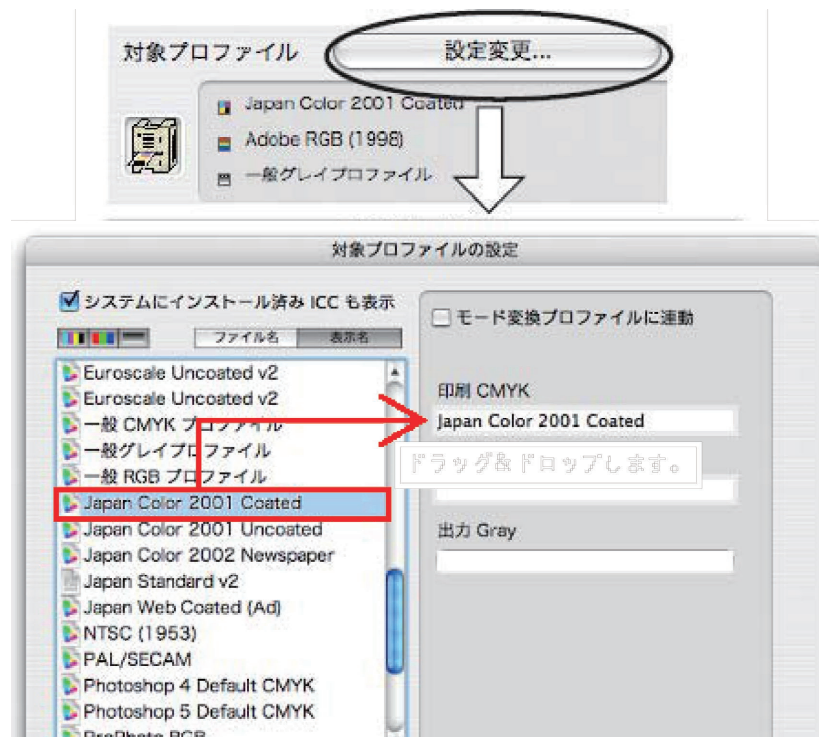
---

#### 5. 印刷プロファイルを設定する

以下の「設定変更...」ボタンを押すと、対象プロファイルの設定画面が表示されるので、

対象となるICCプロファイルを選択します

- 対象プロファイルの指定



その他、印刷条件にあわせて作成したICCプロファイルや印刷基準カラーのICCプロファイルを設定してください。

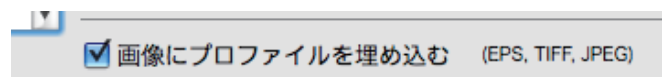
上記のICCプロファイルが手元に無い場合は、一般的な日本の印刷条件としてカラージェニアス DC Ver.3.1に付属している、「DS\_JAPAN314 Art 175 CHN」を代用として選択してください。

## 6. プロファイルを画像に埋め込む設定を行う

以下のチェックボックスを選択します。

- 画像にプロファイルを埋め込む (EPS, TIFF, JPEG)

EPS, TIFF, JPEG形式の画像ファイルの場合のみ、プロファイルを埋め込みます。



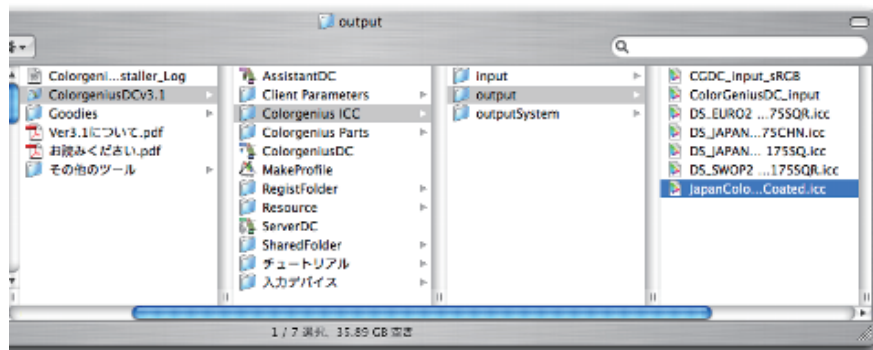
**Q：プレビュー表示の色が、Photoshop表示の色と違う（CMYK）**

**A：**

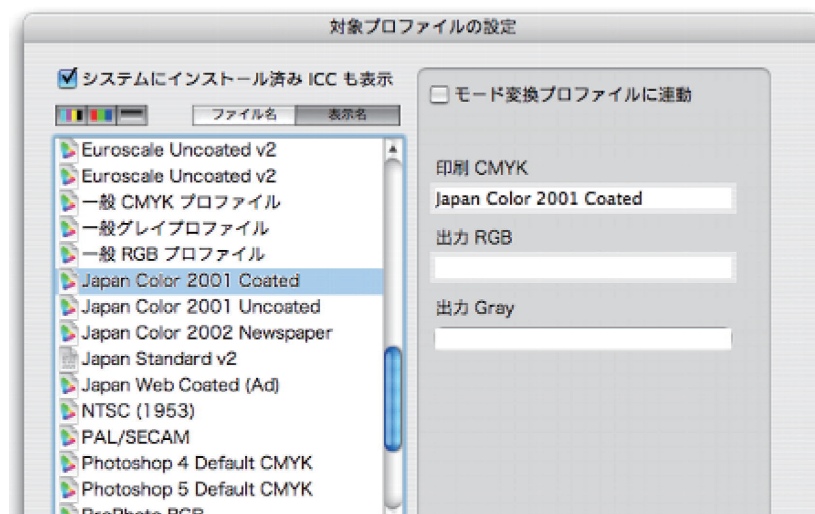
Photoshopとカラー環境設定の基準を合わせてください。

\*以下に、Japan Color 2001 coated に合わせる方法を紹介します。

1)アプリケーション/ColorgeniusDCv3/ColorgeniusDCv3.1/Colorgenius ICC/output  
に、Japan Color 2001 Coated.icc のファイルをコピーします。



2)ファイルメニューの「編集」>「カラー設定」の対象プロファイルの指定で、  
Japan Color 2001 Coatedを選択します。



**Q：カラージーニアス DC Ver.3.1は何ができるソフトですか？**

**A：**

カラージーニアス DC Ver.3.1はデジタルカメラなどで作成したRGB画像をCMYK画像に変換するソフトウェアです。

製版スキャナの画像処理エンジンを利用しワンクリックでRGB画像から印刷の表現に最適なCMYK画像に変換できます。被写体や仕上がりに見合うキーワードを選択し、原稿や好みに応じたセットアップによりCMYK画像の仕上がり品質を調整できます。また、マニュアル微調整を使って微妙なタッチの補正が行えます。

カラージーニアス DC Ver.3.1にはユーザーアプリケーションを使って画像1点毎にシミュレーションしながら変換を行う方法と、サーバーアプリケーションを使ってバッチ処理で変換を行う方法の2通りの運用方法があります。

**Q：CMYK保存したファイルをダブルクリックした時に常にPhotoshopで開く設定**

**A：**

ファイルメニューのファイル>初期設定>一般設定で、ダイアログのファイルクリエータをPhotoshopに設定します。

## Q：カラーゼニアス DC Ver.3.1の動作環境は？

## A：

カラーゼニアス DC Ver.3.1の動作環境は次のとおりです。

### システムソフトウェア

- ・ Mac OS X Ver.10.4.6以上、Ver.10.5.1以上
- ・ 日本語環境以外は動作保証外です

### コンピュータ

- ・ Intelプロセッサ搭載Macおよび、Power Mac G4/G5を推奨

### ハードディスク

- ・ 1GB 以上の空き容量（入力画像の3倍以上を目安として下さい）

### メモリー

- ・ ユーザーアプリケーションのみを使用する場合

推奨 384MB 以上

- ・ サーバーアプリケーションのみを使用する場合

推奨 384MB 以上

- ・ ユーザーアプリケーションとサーバーアプリケーションを同時に使用する場合

推奨 512MB 以上

### CD-ROM ドライブ

- ・ 内蔵または、外付けの CD-ROM ドライブが必要です。

### USB ポート

- ・ ユーザーアプリケーションのみを使用する場合

必要な空きポート 1つ

- ・ サーバーアプリケーションのみを使用する場合

必要な空きポート 1つ

- ・ ユーザーアプリケーションとサーバーアプリケーションを同時に使用する場合

必要な空きポート 2つ

### ディスプレイ

- ・ 21インチのフルカラーディスプレイを推奨

### ディスプレイカード

- ・ フルカラー表示可能（最低 17インチ以上ディスプレイで32,768色が表示できるもの）

の)

**Q：シリアル番号はどこに記載されていますか**

**A：**

カラージェニアス DC Ver.3.1のシリアル番号は、インストールCDの「CDケース」と「ユーザー登録用紙」の2ヶ所に記載されています。3ユーザ/1サーバー版の場合に3つのシリアル番号が、その他の商品の場合は1つのシリアル番号が記載されています。

**【シリアル番号についての補足説明】**

同じネットワーク内に一致するシリアル番号がある場合、アプリケーションを起動することはできません。3ユーザ/1サーバーなど、複数のマシンで使用する場合はそれぞれのマシンで異なるシリアル番号を割り当ててご使用ください。



## Q：インストール手順～新規インストールの場合

## A：

カラージャーニース DC Ver.3.1を新規インストールする場合の手順を紹介します。

この項目は次の構成になっています。

1. インストールにあたっての注意事項
2. インストールの手順
3. アプリケーションを起動する際の注意事項

---

### 1. インストールにあたっての注意事項

下記の項目に注意してインストール作業を行ってください。

- Mac OS Xに管理者のアカウントでログインしてインストールを行ってください。
- カラージャーニース DC Ver.3.1の動作する環境にインストールを行ってください。

関連する情報 [カラージャーニース DC Ver.3.1の動作環境は？](#)

---

### 2. インストールの手順

カラージャーニース DC Ver.3.1のインストールは、下記の手順で進めて下さい。

- i. コンピュータを起動し、**管理者のアカウントでログインします。**
- ii. カラージャーニース DC Ver.3.1のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- iii. Finderに表示されたCD-ROMのアイコンをダブルクリックします。
- iv. インストーラのアイコンをダブルクリックして、インストーラーを起動します。



### ColorgeniusDC3.10j

- v. Mac OS Xの認証画面が表示されます。名前とパスワードを入力し「OK」をクリックします。
- vi. インストーラの初期画面が表示されます。「続ける」をクリックします。



- vii. 「ライセンス」（使用許諾契約書）が表示されます。内容を確認し同意する場合は、  
「同意する」ボタンをクリックします。
- viii. 「お読み下さい」が表示されます。内容を確認し、「続ける」ボタンをクリックします。
- ix. インストーラーのウインドウが表示されます。インストールの場所を指定した上で  
「インストール」をクリックします。



- x. インストールが終了すると、確認のダイアログボックスが表示されます。  
「終了」をクリックし、インストーラーを終了します。
- xi. カラージーニアス DC Ver.3.1のプログラムが次の場所にインストールされています。

## (Ver.3.1の場合)

「アプリケーション/ColorgeniusDCv3/ColorgeniusDCv3.1/」

---

### 3. アプリケーションを起動する際の注意事項

#### USB Dongleについて

- ユーザーアプリケーション（ColorgeniusDC）とサーバーアプリケーション（ServerDC）を起動する際にはUSB Dongleが必要です。商品パッケージに付属しているUSB DongleをUSBポートに接続し、アプリケーションを起動してください。
- カラージーニアス DC Ver.3.1 には、ユーザーアプリケーション用とサーバーアプリケーション用の2種類のUSB Dongleがあります。Dongleに貼られているシールでDongleの種類を確認してください。

#### シリアル番号について

- アプリケーションを起動する際、使用者の「名前」・「所属名」・「シリアル番号」の登録を行います。「シリアル番号」は商品パッケージのCDケースに記載されているシリアル番号を使用してください。
- 同じネットワーク内に一致するシリアル番号がある場合、アプリケーションを起動することができません。3ユーザ/1サーバーなど、複数のマシンで使用する場合はそれぞれのマシンで異なるシリアル番号を割り当ててご使用ください。

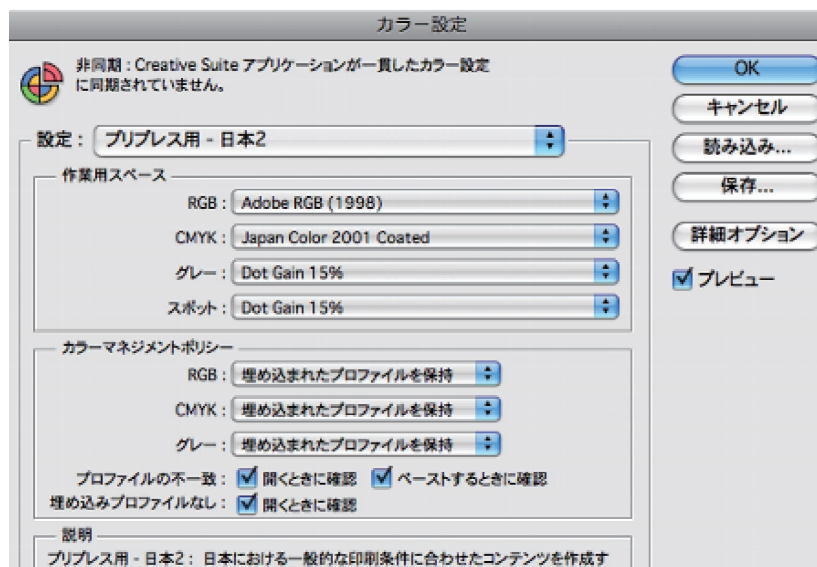
関連する情報 [シリアル番号はどこに記載されていますか？](#)

## Q：Photoshopと色を合わすには？

A：

Photoshopで画像を開く時に指定したRGBのプロファイル（カラースペース）と、カラーマネージャ DC Ver.3.1で画像を開く時に指定するプロファイル（カラースペース）を一致させてください。

Photoshopのカラー環境設定で、RGB：Adobe RGB、CMYK：Japan Color 2001を選ぶ場合、下記のように設定します。



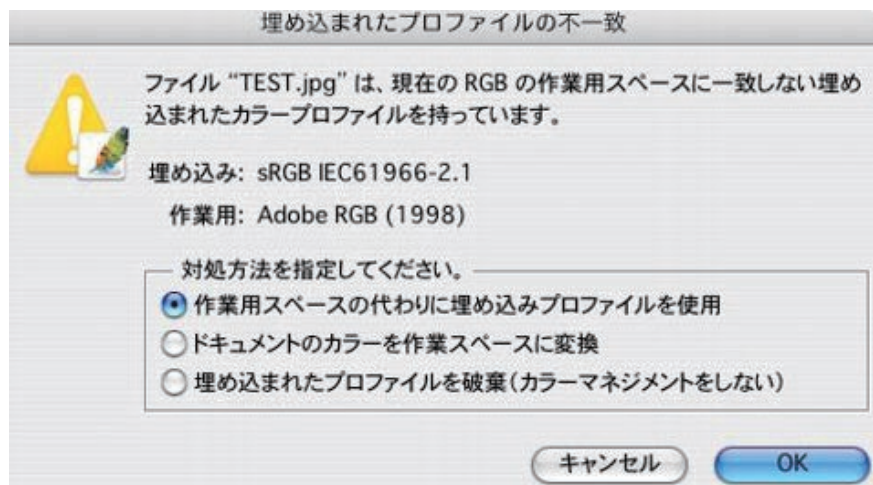
**Q：取り込んだRGB画像の表示の色が、Photoshop表示の色が違う**

**A：**

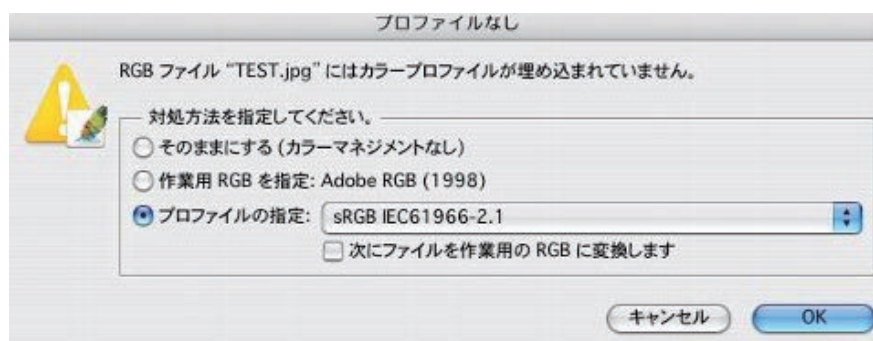
Photoshopで画像を開く時に指定したRGBのプロファイル（カラースペース）と、カラーマネージャ DC Ver.3.1で画像を開く時に指定するプロファイル（カラースペース）を必ず一致させてください。

いくつか具体的な例で紹介します。

下のダンプ画面の操作でファイルを開いた場合は、埋め込まれたICCプロファイルのカラースペース「sRGB」で画面に表示されます。



次のダンプ画面では、ICCプロファイルでカラースペースが定義されていないRGB画像を「sRGB」で開いて表示する場合を示しています。



上記の手順によって、PhotoshopでRGB画像を開く時に「sRGB」を指定して表示した

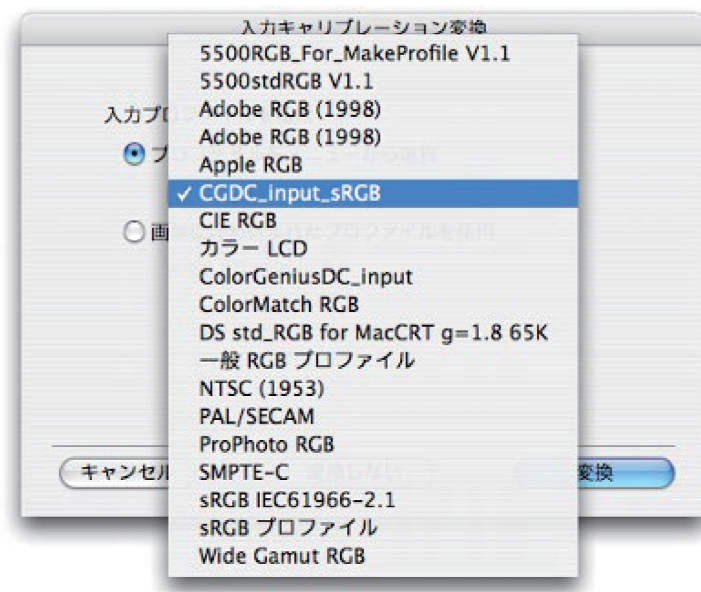
場合、

カラージェニアス DC Ver.3.1でRGB画像を開く時には「CGDC\_input\_sRGB」を選んで、カラースペースを一致させて下さい。

この手順でPhotoshopとカラージェニアス DC Ver.3.1の表示色が揃います。

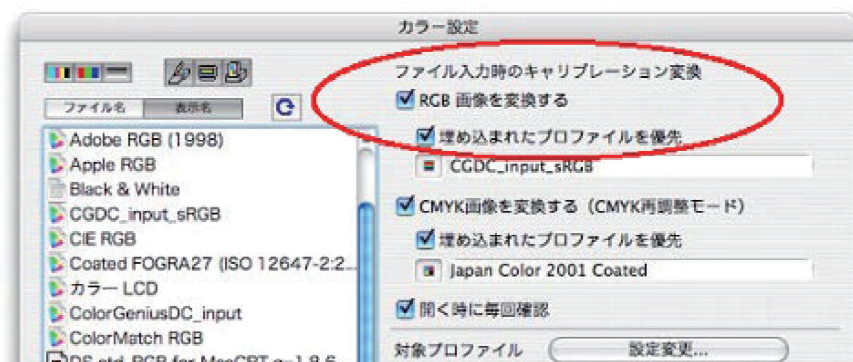
\* AdobeRGBで開いて表示する場合も同じです。

AdobeRGBで開く場合、カラージェニアス DC Ver.3.1側では「CGDC\_input」を選んでください。



メニューの「編集」>「カラー設定」で、「ファイル入力時のキャリブレーション変換」に

チェックを入れておけば、デフォルトの入力プロファイルを指定することもできます。



**Q：カラージャーニアス DC Ver.3.1 Smartと1ユーザ/1サーバーの違いを教えてください**

**A：**

商品毎に使えるアプリケーションの種類と数量が異なります。

---

### カラージャーニアス DC Ver.3.1 Smart

- ・ユーザーアプリケーション 1ライセンス

RGB画像のCMYK画像変換やこれに伴うレシピファイルの書き出し、レシピファイルを使ったセットアップの再現チェックが行えます。ホットフォルダを使ったバッチ変換の機能はありません。バッチ変換機能の有無が「1ユーザ/1サーバー」との違いになります。はじめに「Smart」を導入した後、「1サーバー」の追加購入で「1ユーザ/1サーバー」と同等の機能にアップグレードできます。

---

### カラージャーニアス DC Ver.3.1 1ユーザ/1サーバー

- ・ユーザーアプリケーション 1ライセンス
- ・サーバーアプリケーション 1ライセンス

「Smart」にプラスして、ホットフォルダを使ったバッチ変換処理が行なえます。バッチ変換を利用してCMYK変換作業の効率化が実現します。

---

### カラージャーニアス DC Ver.3.1 3ユーザ/1サーバー

- ・ユーザーアプリケーション 3ライセンス
- ・サーバーアプリケーション 1ライセンス

「1ユーザ/1サーバー」に対してユーザーライセンスが3つ付属している商品が「3

ユーザ/1サーバー」になります。

---

### カラージェニアス DC Ver.3.1 1サーバー

- ・サーバーライセンス 1ライセンス

既にカラージェニアス DC Ver.3.1 Smartや1ユーザ/1サーバー、3ユーザ/1サーバーを導入しているユーザー向けにサーバーのライセンスを増やす場合の商品です。

**Q：「スタジオ撮影」と「その他」の使い分け方がわからない**

**A：**

ほとんどの場合、「スタジオ撮影」を使用します。

変換テーブルをカスタマイズする場合や仕上がりを浅めにする場合は「その他」を利用します。

例えば、屋外で撮影した写真であっても「その他」を選ぶ必要はありません。



**Q：レシピを8bit、16bit画像で使い分ける(Ver2.0まで)**

**A：**

カラージェニアス DC Ver.3.1では、RGB画像の8bitと16bitを区別して、それぞれレシピを準備する必要がありません。

Ver2.0までのColorGenius DC2では、8bit用と16bit用に分けてレシピを運用します。



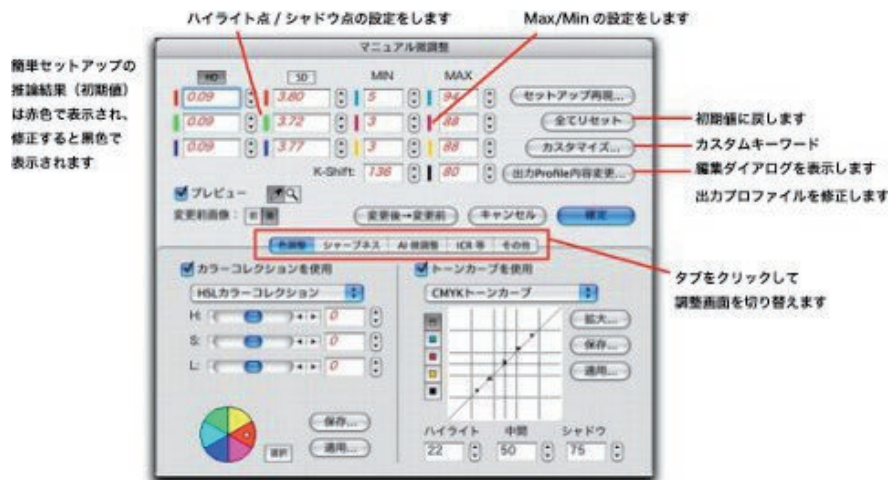
Q : マニュアル微調整を使う

**A :**

カラージャーニアス DC Ver.3.1ではキーワードを使った簡単な操作で画像を補正することができますが、更に細かく補正を行いたい場合は、マニュアル微調整機能を使って画像補正を行うことができます。また、マニュアル微調整で補正した設定をキーワードに登録して同じ設定を簡単に再利用することもできます。

## 1. マニュアル微調整で調整できる画像補正機能

- トーンカーブ
- カラーコレクション
- シャープネス
- AIの微調整（ハイライト／シャドウ濃度）
- AIの微調整（トーン）
- AIの微調整（色かぶり補正）
- ICR（総インキ量の調整）
- UCA/UCRの設定



## 2. マニュアル微調整を開く手順

次の2通りの方法でマニュアル微調整画面を開くことができます。

1. 「セットアップパレット」の「仕上がり（候補）」欄の下にある右側のボタンをクリックして画面を開く。
2. 「メニューバー」から「イメージ>マニュアル微調整」を選択して、画面を開く。

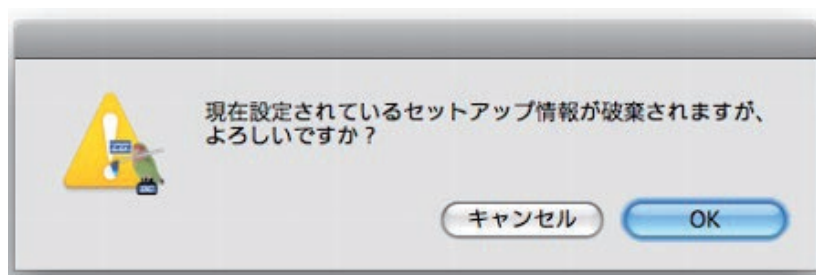


**Q：マニュアル微調整で補正した後、「キーワードを選択」または「簡単微調整の設定」をした場合アラートが出る**

**A：**

マニュアル微調整をした後でキーワードをドラッグすると、セットアップの再演算を行うため、マニュアル微調整で設定した各種のパラメータがデフォルトに戻ります。  
また、マニュアル微調整後に簡単微調整を行った場合も同様です。

微調整を活かすセットアップを行う場合は、必ずキーワードで画像を補正、または簡単微調整を設定した後、微調整をマニュアル微調整で行ってください。

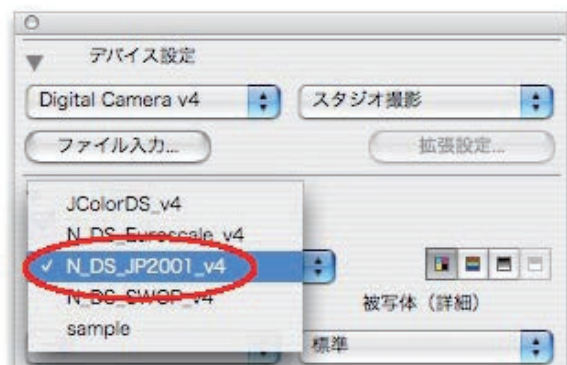


**Q：メニューパレット「変換テーブル」の違いがわからない（ノーマルモード、スキャナモード）**

**A：**

「ノーマルモード」メニューでは、N\_DS\_JP2001\_v4\_16bitをご利用ください。

「スキャナモード」は、JColorDS\_v4\_16bitをご利用ください。



ノーマルモードはRGB画像の雰囲気をもそのままに変換し、スキャナモードは製版スキャナに特有の記憶色や期待色にポイントをおいた変換をします。

**Q：「一般」と「デジタルカメラ」の使い分けがわからない**

**A：**

ほとんどの場合、「デジタルカメラ」を優先してご利用ください。

「一般」は写真フィルムのスキャナ入力データなど、RGBの色基準がよくわからない場合で、

「デジタルカメラ」の変換では補正しきれない場合などにご利用ください。



**Q : ColorGeniusDC\_input、CGDC\_input\_sRGBの意味がわからない**

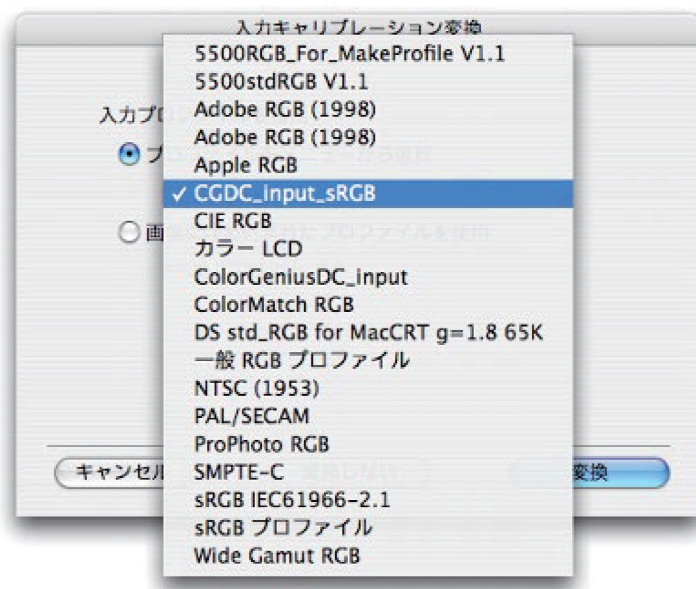
**A :**

カラージェニアスはRGB画像を開く時に入力キャリブレーションを行います。

この時、プロファイルを使用します。

- ColorGeniusDC\_inputは、AdobeRGB準拠の色空間です
- CGDC\_input\_sRGBは、sRGB準拠の色空間です。

開く画像に合わせて選択します。



**Q : 変換テーブルの16bitの標記の意味は？**

**A :**

RGB→RGB変換時に対応しているRGBのbitのことです。

CMYK変換する時は関係はありませんので気にせずご利用ください。

※RGBでは、8bit→8bit、16bit→16bitの変換を行います。

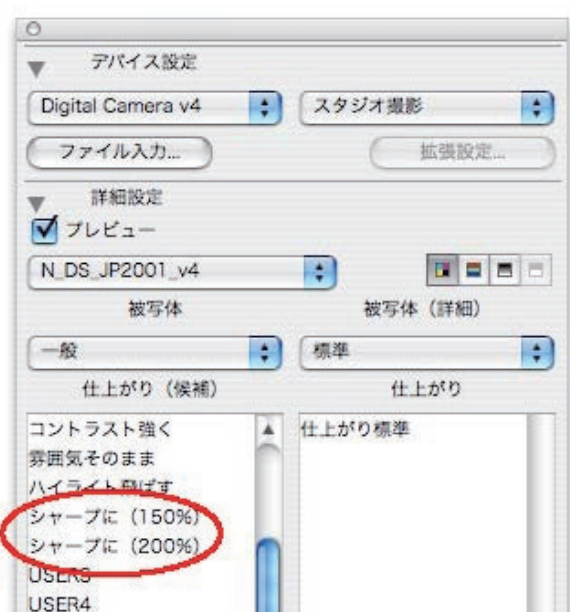
**Q：縮小、拡大時にシャープネスの処理の連動について**

**A：**

カラージャーニアス DC Ver.3.1では、縮小時は原寸で設定されたシャープネスの処理のパラメータをそのまま使用します。

拡大時はインテリジェントセットアップ機能によって拡大率に応じた変更を自動的にを行います。

但し、拡大率が150%、200%をそれぞれ超える場合は、仕上がりキーワードからシャープに（150%）、シャープに（200%）を予めドラッグして設定します。



**Q：サーバー機能を追加したい**

**A：**

カラージャーニアス DC Ver.3.1 Smart を購入後のサーバーの追加は、カラージャーニアス DC Ver.3.1 1Serverを購入してください。

**Q：ファイル保存時に画像サイズを変更した場合、パスが保持されない**

**A：**

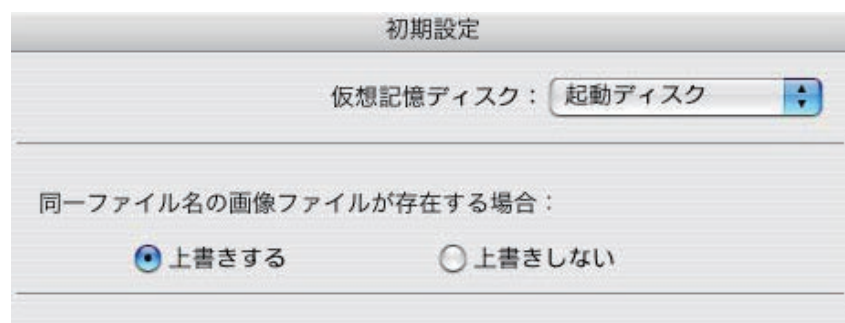
EPS（RGB）形式で記述されたクリッピングパスは、EPS（CMYK）形式でクリッピングパス付画像として保存できますが、**原寸の場合だけ保存できます。**

\*PDF（RGB）形式で記述されたクリッピングパスは、PDF（CMYK）形式でクリッピングパス付の画像の保存ができます。

**Q：サーバーで変換時にファイル名を上書きする設定**

**A：**

ServerDCを起動させて、ファイル>環境設定ダイアログのファイルを上書きするを選択します。



## Q：仕上がりキーワードの補正内容一覧

### A：

仕上がりキーワードの調整内容は次の通りです。

---

#### 仕上がり標準

補正は行いません。

#### やや暗め

中間調のトーンをやや重くします。

#### やや明るめ

中間調のトーンをやや軽くします。

#### 綺麗めに

画像の濁りを取り除き、彩度を上げます。

#### シャープに（150%）

シャープネスの補正量を強くします。

予め150%に拡大されたデジタルカメラ画像などのシャープネスに最適です。

#### ソフトに

シャープネスの補正量を弱くします。

#### ボリューム

中間調のトーンを重くし、シャープネスのマスクを広げてコントラスト境界線を太めにします。

#### ハイライト白く

ハイライトをさらに明るく仕上げます。

#### コントラスト強く

仕上がりキーワード コントラスト強く

### 雰囲気そのまま

かぶり補正量を弱くし、オリジナルの淡い色を残すようにします。

ろうそくや照明器具に適した仕上がりです。

### ハイライトを飛ばす

印刷物などをスキャンする場合に、紙の白地に入る網点をなくしてしまいたいときに、このキーワードをご使用下さい。ハイライトの基準濃度が上がり、紙の白地に付く網点が減少します。

### シャープに

シャープネスの補正量をより強くします。

### シャープに (200%)

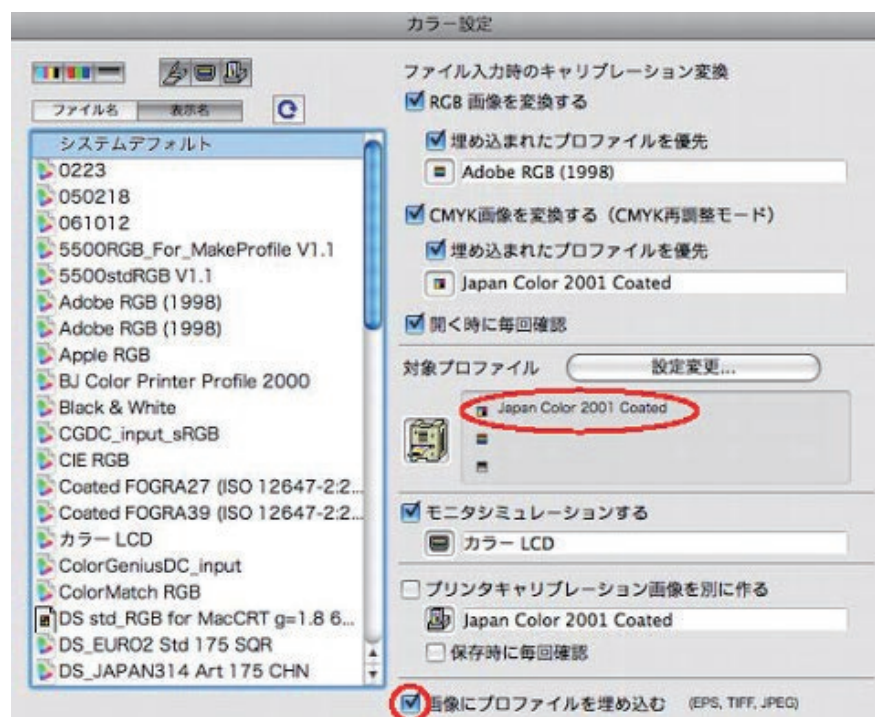
予め200%程に拡大されたデジタルカメラ画像などのシャープネスに最適です。

## Q：CMYK変換後のファイルにICCプロファイルを埋め込むには？

A：

メニューの「編集」>「カラー設定」でチェックします。

※但し、EPS、TIFF、JPEG出力のみで有効です。





**Q：「変換テーブル」って、何ですか？**

**A：**

RGB各色の値から、どんなCMYK変換するかを決めるデータ表のことです。

ルックアップテーブルとも呼びます。カラージェニアス DC Ver.3.1が生み出すワンランク上の品質を誇るCMYK画像は、この変換テーブルから生み出されます。

変換テーブルには、大日本スクリーンの長年にわたる製版スキャナの開発製造で培った「調子再現」や「墨版生成」の技術が結集されています。

## Q：被写体キーワードの補正内容 一覧

### A：

被写体キーワードの調整内容は次の通りです。

---

#### 一般（詳細）標準

ハイライト点・シャドウ点を標準的な値に設定し、画像に色かぶりがあればかぶり補正を行います。原稿の色調や明るさをあまり崩さない標準的なセットアップです。

#### 一般（詳細）白陶器

白色の陶磁器をより白くなるようにハイライト点をセットアップし、また表面のなめらかさがアップするようにシャープネスを調整します。

#### 一般（詳細）宝石

標準のセットアップ内容に加えて、シャープネス補正を使って宝石の立体感とハイライト部の光沢がより出るように補正します。

#### 一般（詳細）退色

ハイライトポイント、シャドウポイントの色かぶりしている色（不要色）を抽出し、この色成分を画像全体から大きく取り除く方法で色かぶりを補正します。

#### 一般（詳細）食品

標準のセットアップに内容に加えて、肉や野菜が持つ色相（赤・緑）の濁りを取り除き食品類を色鮮やかに仕上げます。

---

#### 人物（詳細）標準

人の肌は比較的淡い色のため、標準の内容でセットアップすると、肌がグレーっぽく濁ってしまう場合があります。これを防ぐために、色かぶり補正量を弱めます。また、肌色部に色の置き換えコマンドを使ってきれいな肌色に仕上げます。

### 人物（詳細）明るい肌

標準のセットアップよりハイライトの明るさをやや落とし、肌色が白っぽく（薄く）ならないように仕上げます。また、人物標準と同じように肌色部に色の置き換えコマンドを使用します。

### 人物（詳細）暗い肌

標準のセットアップと同じ程度かぶりを取り除き、中間調をやや明るくします。また、肌のざらつきが出ないようにシャープネス調整します。人物標準と同じように色の置き換えコマンドも使用します。

---

### 風景（詳細）標準

風景を写した原稿が青かぶりしている場合が多く、青かぶりを強く取ります。また、カラーコレクション機能を使って、緑と空の青さをきれいに仕上げます。

### 風景（詳細）夕暮れ・夜景

画像の暗さを保ったまま、電灯などのハイライト部分をやや明るめに仕上げます。ただし、夜景の明かりには色がついているため、白くなりすぎないようにセットアップします。

---

### 機械（詳細）標準

シャープネスを強くかけ、輪郭がはっきりするようにセットアップします。ただし、機械のシャープ感を出すために輪郭エッジはあまり太くならないように仕上げます。

### 機械（詳細）家電製品

白や淡い色を持つ家電製品の表面をなめらかに仕上げ、ざらざら感が出ないようにします。

**Q：マニュアル微調整で補正した後、簡単微調整を併用した場合、アラートが出る**

**A：**

マニュアル微調整をした後で簡単微調整を行って確定ボタンを押下すると、改めて画像補正の再演算を行うため、マニュアル微調整で設定した各種のパラメータが簡単微調整で補正した内容で変更され、アラートが表示されます。

マニュアル微調整の後で簡単微調整を同時に使用する場合は注意してください。

## Q：カスタムキーワードを作成する

A：

マニュアル微調整で調整した設定をカスタムキーワードに登録すれば、簡単な操作で誰でも繰り返して同じ調整を再利用できます。

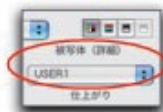
カラージョニアス DC Ver.3.1には、「被写体キーワード」と「仕上がりキーワード」の2種類のキーワードがあり、それぞれ登録する手順が異なります。

ここでは、それぞれの場合にわけてカスタムキーワードを作成する手順について説明します。

### 1. 被写体キーワードに登録する

- i. あらかじめカスタマイズする「被写体（詳細）」キーワードを選択します
- ii. マニュアル微調整ウィンドウを開き、画像の補正内容を決めます
- iii. 「カスタマイズ」のボタンをクリックし、「カスタムキーワード編集」ウィンドウを開きます

#### 1. カスタマイズするキーワードを選択



#### 2. 「カスタマイズ」ボタンをクリックする

##### ■ マニュアル微調整の場合



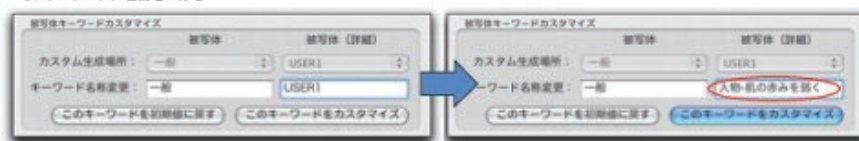
##### ■ 簡単微調整の場合



- iv. 「被写体（詳細）キーワード」にキーワードの名称を入力し「このキーワードをカスタマイズ」のボタンをクリックしてキーワードを登録します
- v. セットアップパレットの「被写体（詳細）」のウィンドウにカスタマイズされたキーワードが表示されます。キーワードとして選択を行い、登録した処

理が再現されることを確認してください

### 3. キーワードに名前をつける



### 4. カスタマイズしたキーワードが表示されます



## 2. 仕上がりキーワードに登録する

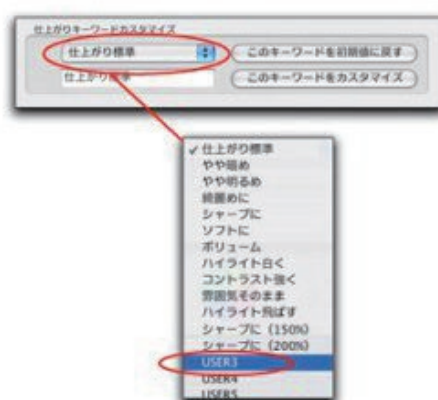
- マニュアル微調整ウィンドウを開き、画像の補正内容を決めます
- 「カスタマイズ」のボタンをクリックし、「カスタムキーワード編集」ウィンドウを開きます。「仕上がりキーワードカスタマイズ」のポップアップメニューから使用していないキーワードを選択します。（「USER 1」など）  
※初期登録されているキーワードをカスタマイズすることも可能です。

### 1. 「カスタマイズ」ボタンをクリックする

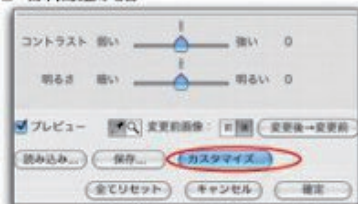
#### ■ マニュアル微調整の場合



### 2. 「カスタマイズ」用に用意しているキーワードを選択します



#### ■ 簡単微調整の場合

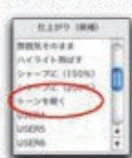


- 登録するキーワードの名称を入力し「このキーワードカスタマイズ」のボタンをクリックすることで、登録が完了します
- セットアップパレットの「仕上がり（候補）」のウィンドウにカスタマイズされたキーワードが表示されます。キーワードとして選択を行い、登録した処理が再現されることを確認してください。

### 3. キーワードに名前をつける



### 4. カスタマイズしたキーワードが表示されます



## Q：表示するキーワードの数を増やす（減らす）

### A：

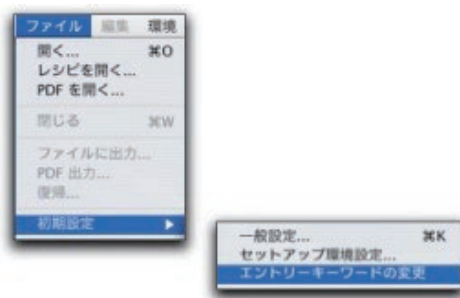
ここでは、セットアップパレットに表示させるキーワードを増やしたり、減らしたりする場合の手順を紹介します。

キーワードをカスタマイズすることで、新しく登録したキーワードをセットアップパレットに表示したり、使わないキーワードを非表示にしたりするなど、効率よく作業を進めることができます。ここでは、セットアップパレットに表示されるキーワードを変更する方法について説明します。

---

### 1. エントリーキーワードの変更画面を開きます。

「メニューバー」から「ファイル>初期設定／エントリーキーワードの変更」を選択します。



※画像を開いた状態ではメニューがグレー表示され、選択することができません。この操作は画像を開いていない状態で行ってください。

---

### 2. セットアップパレットに表示するキーワードを変更します

#### キーワードを増やす場合

キーワードを「未使用」リストから「エントリー」リストにドラッグ&ドロップします。

#### キーワードを減らす場合

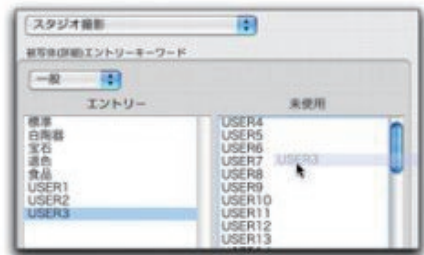
表示しないキーワードは「エントリー」リストから「未使用」リストへドラッグ&ドロップします。

キーワードを増やす場合



「未使用」から「エントリー」へ  
キーワードをドラッグ&ドロップします

キーワードを減らす場合



「エントリー」から「未使用」へ  
キーワードをドラッグ&ドロップします

すべての操作が終了すれば、「編集終了」ボタンをクリックして「エントリーキーワード変更」のウィンドウを閉じます。

カラージャーニアス DC Ver.2.1以降とそれ以前のバージョンではエントリーできるキーワードの数量が異なります。

Ver.2.1以降でエントリーできるキーワードは次の通りです。

- 被写体（詳細）キーワード、仕上がりキーワードは各々64個まで作成することができます
- 作成した全てのキーワードをエントリーすることができます
- 仕上がりキーワードは、最大で64個のキーワードを1つの画像に適用させることができます。

		Ver.1.1	Ver.2.0	Ver.2.1
被写体（詳細） キーワード	一般	15個	21個	64個
	人物	15個	19個	64個
	風景	15個	18個	64個
	機械	15個	18個	64個
仕上がりキーワード		15個	27個	64個

Q：カラー設定でフォルダーに登録したICCプロファイルが選択できない

A：

カラージャーニアス DC Ver.3.1アプリケーションを再起動してください。

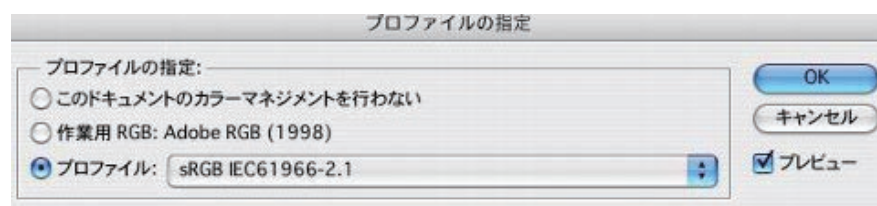
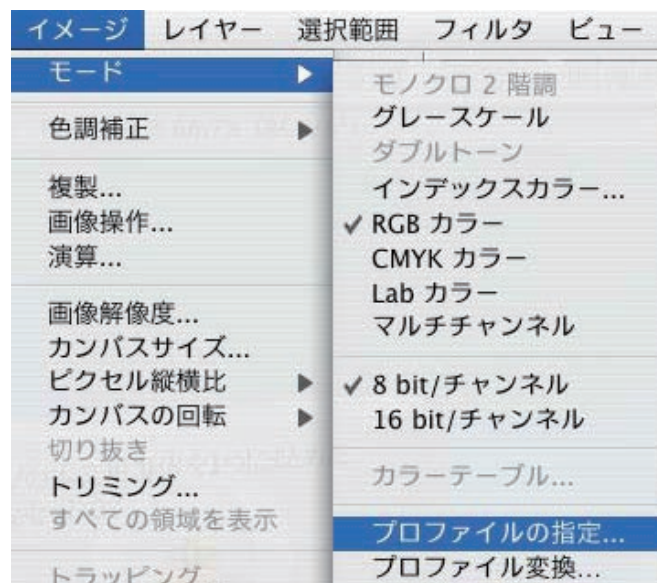
**Q：RGB画像のプロファイルが判らない、予めチェックする方法は？**

**A：**

プロファイルが埋め込まれている場合は、Photoshopの イメージ>プロファイルの指定

で内容を確認できます。

デジカメのデータでExifがある場合は、Exifビューアーでも確認できます。





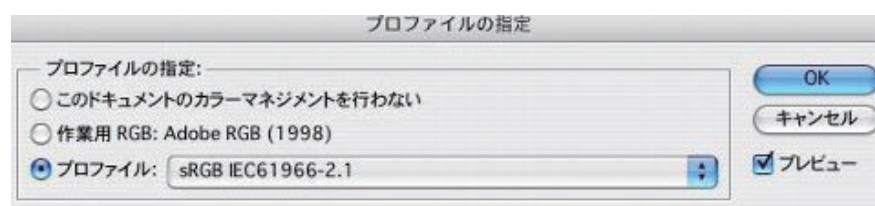
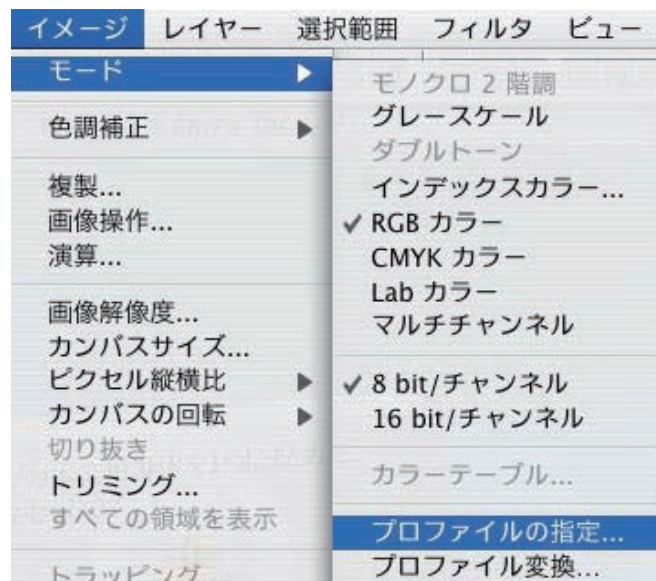
**Q：RGB画像のプロファイルが判らない、予めチェックする方法は？**

**A：**

プロファイルが埋め込まれている場合は、Photoshopの イメージ>プロファイルの指定

で内容を確認できます。

デジカメのデータでExifがある場合は、Exifビューアーでも確認できます。



**Q：インストール手順～「1Server版」の場合**

**A：**

カラージーニアス DC Ver.3.1 1Serverをインストールする際の注意事項について紹介します。

---

**カラージーニアス DC Ver.3.1 を使用しているマシンに1Serverを追加する場合**

ソフトウェアをインストールする必要はありません。

サーバーアプリケーション用のUSB dongleをUSBポートに接続するだけで、サーバーアプリケーション(ServerDC)を使用することができます。

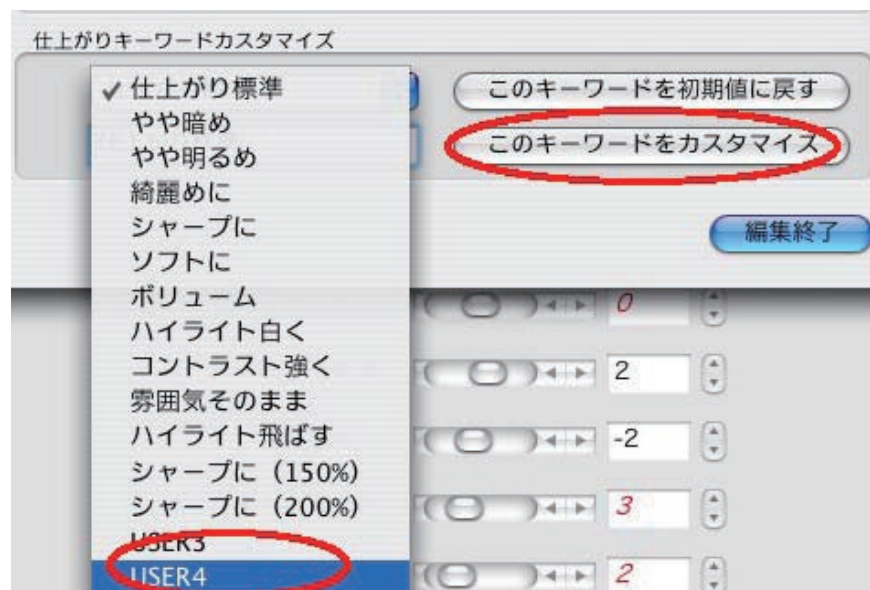
**Q：特定の画像補正パターンをキーワードで登録したい**

**A：**

1)画像のセットアップを行った後、メニューパレットから詳細設定ボタン> マニュアル微調整の画面で「カスタマイズ」を押します



2)USERエリアを選択して、キーワード名を任意に設定してから、「このキーワードをカスタマイズ」を押して登録します。



**Q：AIバイパスとは何ですか？**

**A：**

AIバイパスは、カラージェニアス DC Ver3.\*から追加された機能です。

AIバイパスは、ICCプロファイルによるCMYK変換のように、  
原稿のハイライト／シャドウを変えずに、カラージェニアスでCMYK変換する機能です。

関連する情報 [ICCプロファイル変換エミュレーション機能](#)

**Q：シャープネスAIとは何ですか？**

**A：**

シャープネスAIは、カラージェニアス DC Ver.3.\*から追加された機能です。

デジタルカメラの機種・撮影条件に関わらず、RGB画像の解析結果から印刷用CMYK  
に

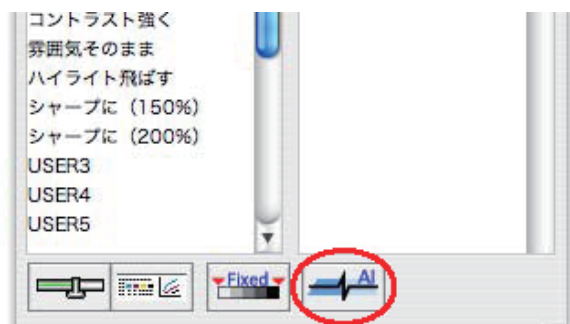
最適なシャープネス効果を自動判定し変換できます。

関連する情報 [シャープネスAIの特長、効果](#)

### Q：シャープネスAIの使い方

A：

シャープネスAI機能は、シャープネスAIのボタンをクリックしてONの状態で使用できます。



同じ紙面に、機種や撮影条件の異なるデジカメ画像をレイアウトする場合などでも、仕上がりのシャープネス効果を揃えられるので、ワンランク上の紙面デザインが可能になります。

### Q：総インキ量の調整（サーバー機能）

A：

カラージョニアス DC Ver.3.\*のサーバー機能には、CMYK変換後の総インキ量を指定した数値に抑えることができる調整機能が搭載されています。

この機能により、用紙・印刷条件を網羅したより最適なCMYK変換をバッチ処理できます。

### Q：Digital Camera v4 とは何ですか？

A：

デジタルカメラのRGB（sRGB、AdobeRGB）に最適化されたカラージョニアス画像処理エンジン最新バージョンのモード変換プロファイルです。

**Q : AIバイパスの使い方**

**A :**

AIバイパス機能は、AIバイパスのボタンをクリックしてONの状態で使用できます。  
カメラマンやフォトデザイナーによって予め「絵創り」されたRGB画像を、  
RGB画像の雰囲気はそのままに、カラージェニアス DCの優れた調子再現やシャープ  
ネス効果によって最適なCMYKに変換する際に使用ください。

## トラブルシューティング

- ハードウェアキー（USB Dongle）を認識しない
- クリッピングパスの情報が維持されない
- ソフトが起動しない
- レスピファイルとビット数が一致しないエラーが出る
- プレビュー画像が表示されない
- 画像解像度が小数点以下の端数に変わる
- 追加した印刷プロファイルが表示されない（カラー設定）
- ファイル保存時にPONTリソースが足りない
- シリアル番号を入力できない
- ファイル保存時にファイルの拡張子が変わらない
- ソフトが正常に起動しないので、クリーンインストールしたい

**Q：ハードウェアキー（USB dongle）を認識しない**

**A：**

このメッセージは、カラージョーニアス DCがUSB dongleを認識していない場合に表示されるエラーメッセージです。以下の手順でUSB dongleの状態を確認して下さい。

**1. USB dongleの通電状況を確認する**

USB dongleが正常に動作している場合、USB dongleの緑色のランプが点灯します。USB dongleで緑色にランプが点灯しているかを確認して下さい。

**2. USB dongleを別のポートに差し替えて確認する**

ランプが点灯していても状況が変わらない場合は、USB dongleを別のUSBポートに差し替えて下さい。Macintosh本体のUSBポートに接続して、状況が変わらないか確認して下さい。

以上の確認を行っても状況が変わらない場合、USB dongleが壊れている可能性があります。このような場合には、電話サポートセンターへご連絡下さい。



## Q：クリッピングパスの情報が維持されない

## A：

### Ver.1.xをお使いの場合

RGB画像のクリッピングパスの情報は維持されません。変換後のCMYK画像に対してクリッピングパスの設定を行ってください。

### Ver.2.0～2.04をお使いの場合

PDF入出力機能を利用することで、RGB画像のもっているクリッピングパスの情報を切り抜きオブジェクトとして処理されたCMYK画像へ変換を行うことができます。  
PDF以外のファイル形式の画像の場合はクリッピングパスの情報は維持されません。

### ※PDF入出力を使いクリッピングパス情報をCMYK変換後の画像へ維持させる

- (1) PhotoshopPDF形式でファイルを保存します。
- (2) ColorGenius DC2で「PDFを開く」でPDFファイルを開きます。
- (3) PDF画像を処理するレシピファイルを選択します。
- (4) 仕上がりを調整した後、「PDF出力」を選択します。
- (5) レシピを埋め込んだRGB画像のPDFファイルが出力されます。
- (6) ColorGenius DC2のホットフォルダへPDFファイルをコピーします。
- (7) クリッピングパスが付いたCMYK画像が出力先のフォルダに出力されます

RGB画像をPhotoshopでPDF形式の画像ファイルで保存し、ColorGenius DC2で変換するとクリッピングパスを保持して変換することができます。

(Smartでは保存できません、Server機能が必要です)

### Ver.2.1をお使いの場合

EPSファイルのクリッピングパスの情報に対応しました。

ただし、解像度変換や回転、クロップを行うと情報は維持されません。

### Ver.2.2をお使いの場合

EPS、TIFF、JPEGの作業パスの情報の保持に対応しました。

ただし、解像度変換や回転、クロップを行うと情報は維持されません。

**Q：ソフトが起動しない**

**A：**

このエラーはMac OS Xの管理者権限以外のユーザーでカラージェニアス DC Ver.3.1のインストールを行った場合に発生するエラーです。カラージェニアス DC Ver.3.1のインストールはMacOS Xに管理者権限のユーザーでログインした状態で行う必要があります。

このエラーメッセージが表示された場合は、カラージェニアス DC Ver.3.1をアンインストールした上で、Mac OS Xの管理者権限のユーザーでログインしてカラージェニアス DC Ver.3.1でインストールを行ってください。

**Q：レシピファイルとビット数が一致しないエラーが出る**

**A：**

カラージェニアス DCのレシピファイルにはRGB画像のビット数の情報が記述されています。変換を行うRGB画像とレシピファイルに記述されたビット数が一致しない場合にこのエラーメッセージが表示されます。

画像ビット数にあったレシピファイルを使ってファイルを変換してください。

\*ColorGenius DC2ver.2.1以降ではレシピと画像のビット数が異なる場合でも変換を行うことができます。

**Q：プレビュー画像が表示されない**

**A：**

ファイルへの保存の際、出力オプションでプレビューなしを選択していないか確認下さい。

また、ファイル保存時に「PNOTリソースが不足」とのメッセージが表示された場合、プレビューは作成されません。

以上の状況が無かったか確認ください。

**Q：画像解像度が小数点以下の端数に変わる**

**A：**

この現象はColorGenius DC2 Ver.2.0及び Ver.2.01で発生する不具合です。  
Ver.2.04へのアップデートを行うことでこの問題を解決することができます。

**Ver.2.04へのアップデート**

当社のWebサイトからダウンロードすることができます。

<http://www.screen-mt.com/newmt/support/index.html>

または、最新のバージョンにバージョンアップすることでこの問題を解決することができます。

**Q：追加した印刷プロファイルが表示されない（カラー設定）**

**A：**

「カラー設定」で印刷対象プロファイルとして表示している印刷用ICCプロファイルは、

次のフォルダに入っています。

印刷プロファイルを新しく追加する場合は下記のフォルダにファイルをコピーしてください。

**【例：カラージェニアス DC Ver.3.1の場合】**

アプリケーション/ColorgeniusDCv3/ColorgeniusDCv3.1/Colorgenius ICC/output

カラージェニアス DC Ver.3.1を起動して、「カラー設定」の印刷対象プロファイルで新しく追加した印刷プロファイルを選択することができるか確認してください。

ごくまれに、ICCプロファイルをコピーした際にファイルが壊れたり、カスタムで作成したプロファイルの場合、ファイル内部の記述の問題によりプロファイルを読み取ることができない場合があります。もう一度、プロファイルをコピーし直して、プロファイルを読み取ることができるかをお確かめください。

なお、ICCプロファイル Ver.4仕様のICCプロファイルはカラージェニアス DCでは読み取ることはできません。

**Q：ファイル保存時にPONTリソースが足りない**

**A：**

このエラーは、メモリ不足によりプレビューリソースが作成できないというエラー内容です。

このエラーメッセージが表示された場合でも処理を続行するとプレビューが無い状態でファイルが保存されます。プレビューが必要でない場合はそのままファイルとして使用できます。

このエラーメッセージは、画像解像度が72dpiの場合に多く発生します。画像解像度を300dpi～400dpiに変更した上で、ファイル保存を行うとエラーを回避することができます。

画像を開いた後、「メニューバー」から「イメージ／プリセットアップ／画像回転変倍」を選択して開く「画像変倍回転」画面で画像の解像度を変更することができます。

**Q：シリアル番号を入力できない**

**A：**

このエラーはMac OS Xの管理者権限以外のユーザーでカラージーニアス DCのインストールを行った場合に発生するエラーです。

カラージーニアス DCのインストールは、MacOS Xに管理者権限のユーザーでログインした状態で行う必要があります。

このエラーメッセージが表示された場合は、カラージーニアス DCをアンインストールした上で、Mac OS Xの管理者権限のユーザーでログインしてカラージーニアス DCでインストールを行ってください。

**Q：ファイル保存時にファイルの拡張子が変わらない**

**A：**

ColorGenius DC2 Ver.2.01より古いバージョンでは、ファイルの拡張子を修正してファイルを保存して下さい。ファイル形式の変更に連動した拡張子の変更は、Ver.2.01以降のバージョンで対応しています。

Ver.2.01以上のバージョンへのバージョンアップをあわせてご検討下さい。

Ver.2.01以上へバージョンアップを行う方法は次の通りです。

**1. Ver.1.1x、1.2xをお使いの場合**

最新バージョンへのバージョンアップを行う

**2. Ver.2.0をお使いの場合**

最新バージョンへのバージョンアップを行う

Ver.2.04へアップデートを行う。（弊社Webサイトからアップデートをダウンロードしてください）

**Q：ソフトが正常に起動しないので、クリーンインストールしたい**

**A：**

カラージーニアス DC で、正常動作していたアプリケーションが、何らかの理由で正常に起動・動作しなくなった場合、クリーンインストールで対応ください。

クリーンインストールとは、カラージーニアスをアプリケーションフォルダ以外にあるファイルも含め、アンインストールを行い、改めて新規インストールを行います。

以下の手順で、アプリケーションの再インストールをお願いいたします。

**<手順>**

(1) カラージーニアスのアプリケーションフォルダのリネームを行い、インストール場所以外へバックアップしてください。キーワード等カスタマイズデータのバックアップとなります。

※注意：アプリケーションのカラー設定等のGUIの設定はクリアされますので、必要に応じて、設定は、メモ等で記録してください。

(2) 以下のフォルダを削除します。

●ColorgeniusDCアプリケーションフォルダ

場所：Mac OS X HD内のアプリケーションフォルダ

●環境ファイル1

場所：Mac OS X HD：ライブラリ：Application Support：SCREEN：Colorgenius DC v3

●環境ファイル2

場所：Mac OS X HD：（ユーザー名）：アカウント：ライブラリ：Preferences：Colorgenius DC v3 Preferences

※ライブラリフォルダが表示されない場合には、以下の手順でアクセスできます。

1. Finder のメニュー「移動」の「フォルダへ移動」を選択します。
2. 「フォルダの場所を入力」のダイアログのテキストボックスに ~/Library と入力し、「移動」をクリックします。

(3) アプリケーションをインストールします。

製品マニュアルの手順に従い、インストールしてください。

(4) アプリケーションの起動を確認

シリアルナンバーが必要となりますので、ご準備ください。

(5) バックアップしたデータを移行します。

新たな環境のColorgeniusDCアプリケーションフォルダ内の入力デバイスフォルダを別場所にコピー（バックアップ）します。

(1) でバックアップした入力デバイスフォルダ内の、デジタルカメラv4などデータをアプリケーションにコピー（上書き）してください。

製品マニュアルの「8-3. 旧バージョンの変換環境を使用する場合には」を参考ください。

※上記コピー後に正常動作しない場合には、このデータに何らかの問題があると思われますので、(5) でバックアップした入力デバイスフォルダを戻してください。  
クリーンインストール環境〔(4) の状態〕からColorgenius DCのご使用となります。

(6) 必要に応じて(1) で記録した設定項目の設定を行ってください。